

一般社団法人日本育種学会 第145回講演会プログラム  
2024年春季 東京大学

|   |                              | 受付 8:00開始(弥生講堂)  |                                     |   |  |                                    |                                    |
|---|------------------------------|--|-------------------------------------|---|--|------------------------------------|------------------------------------|
|   |                              | 第1会場   | 第2会場                                | 第3会場  | 第4会場   | 第5会場                               |                                    |
| 3月16日<br>(土)                              | 午前                           | 弥生講堂   | 農学部1号館<br>第8講義室                     | 農学部2号館<br>化学第1講義室227  | 農学部2号館<br>YAMASA L.R. 106  | 農学部2号館<br>化学第2講義室121               |                                    |
|   |                              | オミクス・データベース<br>101-102<br>8:30-9:00  | 収量・品質<br>201-205<br>8:30-9:45       | 育種法・育種技術<br>301-308<br>8:30-10:30                             | 抵抗性・耐性<br>401-404<br>8:30-9:30   | 増殖・生殖<br><br>501-512<br>8:30-11:30 |                                    |
|   |                              | ゲノム解析・<br>ゲノム育種<br>103-111<br>9:00-11:15   |                                     |   |  |                                    | 品種育成・遺伝資源<br>206-210<br>9:45-11:00 |
|   |                              |  |                                     | 品種育成・遺伝資源<br>312 11:15-11:30                                  | 遺伝子機能<br>411-412<br>11:00-11:30  |                                    |                                    |
|   |                              | ○ 株式会社ジーンペイ ランチョンセミナー 11:40-12:30 (会場:農学部1号館第8講義室)<br>「クワ遺伝資源のゲノム解析におけるナノポアシーケンシングの活用」<br>講演演者:松村 英生(信州大学 基礎研究支援センター遺伝子実験支援部門)<br>講演演者:上村 泰央(株式会社ジーンペイ)  |                                     |   |  |                                    |                                    |
| 懇親会 18:00-20:00 (東京大学 生協中央食堂)             |                              |  |                                     |   |  |                                    |                                    |
| 3月16日<br>(土)                              | 午後                           | 総会   | 12:50-13:50                         | (会場:安田講堂)   |  |                                    |                                    |
|   |                              | 学会賞受賞講演  | 14:00-17:35                         | (会場:安田講堂)   |  |                                    |                                    |
|   |                              | 受賞者紹介  | 14:00-14:10                         |   |  |                                    |                                    |
|   |                              | 学会賞  | 14:10-14:45                         | ◎イネの形態形質に関する分子遺伝学的研究および育種への応用<br>芦荻 基行(名古屋大学生物機能開発利用研究センター)   |  |                                    |                                    |
|   |                              |  | 14:50-15:25                         | ◎マメ科作物の遺伝的多様性の解析と育種利用に関する研究<br>加賀 秋人(農研機構作物研究部門)              |  |                                    |                                    |
|   |                              |  | 15:30-16:05                         | ◎多様なニーズに対応した落花生品種の育成<br>千葉県農林総合研究センター落花生育成グループ(代表者:桑田 主税)     |  |                                    |                                    |
|   |                              | 奨励賞  | 16:10-16:35                         | ◎イネの胚乳における生殖的隔離機構の遺伝育種学的研究<br>殿崎 薫(横浜市立大学木原生物学研究所)            |  |                                    |                                    |
|   |                              |  | 16:40-17:05                         | ◎アブラナ科野菜およびイネにおける耐病性機構の分子遺伝学的解析とその育種展開<br>清水 元樹(岩手生物工学研究センター) |  |                                    |                                    |
|   | 17:10-17:35                  | ◎ゲノミックセレクションとシミュレーションを活用した植物育種の効率化に向けた研究<br>矢部 志央理(農研機構作物研究部門)   |                                     |   |  |                                    |                                    |
| 3月17日<br>(日)                              | 午前                           | 受付 8:00開始(弥生講堂)  |                                     |   |  |                                    |                                    |
|   |                              | ポスター発表 9:00-10:50(弥生講堂・弥生講堂アネックス)<br>奇数番号 9:00-9:50 偶数番号 10:00-10:50   |                                     |   |  |                                    |                                    |
|   |                              | レクチャーコーナー 11:00-12:00(弥生講堂・農学部1号館・農学部2号館)  |                                     |   |  |                                    |                                    |
|   | 午後                           | ○ ムーンショットプロジェクト×農林水産省 特別企画 ランチョンセミナー<br>12:15-13:00 (会場:農学部1号館第8講義室)<br>「ムーンショット型研究による新作物開発の可能性と、知的財産の守り方」<br>話題① ムーンショットプロジェクトが目指す作物改良<br>(国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 作物研究部門 作物デザイン研究領域<br>作物デザイン開発グループ グループ長 宇賀 優作)<br>話題② 研究者に知っておいてほしい! 知的財産の守り方<br>(農林水産省輸出・国際局知的財産課 課長補佐 柴崎 智佳) |                                     |   |  |                                    |                                    |
|   |                              | 第1会場   | 第2会場                                | 第3会場  | 第4会場   | 第5会場                               |                                    |
| 弥生講堂                                      |                              | 農学部1号館<br>第8講義室  | 農学部2号館<br>化学第1講義室227                | 農学部2号館<br>YAMASA L.R. 106                                     | 農学部2号館<br>化学第2講義室121   |                                    |                                    |
| ゲノム解析・<br>ゲノム育種<br>113-123<br>13:15-16:00 |                              | ゲノム解析・<br>ゲノム育種<br>213-222<br>13:15-15:45  | 品種育成・遺伝資源<br>313-323<br>13:15-16:00 | 発生・生理<br>413-421<br>13:15-15:30                               | 遺伝子機能<br>513-522<br>13:15-15:45  |                                    |                                    |
|   | 品種育成・遺伝資源<br>223 15:45-16:00 |  |                                     |   |  |                                    |                                    |
|   |                              |  |                                     |   | グループ研究集会<br>Special Seminar<br>On improving gene editing<br>technology for auxin research<br>and crop improvement<br>Yunde Zhao(UCSD)<br>16:45-17:45 |                                    |                                    |

| 3月16日 | 第1会場  | 第2会場  | 第3会場   |
|-------|---|---|--|
|       | ◆座長 高木宏樹(石川県大)  | ◆座長 三浦孝太郎(福井県大)   | ◆座長 細川優介(道総研)  |
| 8:30  | 101 道総研の育種事業を支援する系譜追跡 Web-DB システム Pedigree Tracer (PEDIT) の開発<br>☆阿出川さとみ1,堀川謙太郎2,田中義則1,鈴木孝子3(1.道総研中央農試, 2.道総研上川農試, 3.道総研農研本部)   | 201 ダイズの子実品質を客観的に評価する多波長画像解析手法の開発<br>○山田哲也1,南條洋平1,孫建強2,青木恵美子1,平田香里1,加藤信1,山崎諒1,米丸淳一2,中村春貴1,石川吾郎1,加賀秋人1(1.農研機構・作物研究部門, 2.農研機構・農業情報研究センター)   | 301 ゲノム情報、気象および空間効果に基づく交配後代集団における到穂日数、収量予測モデルの開発<br>○後藤明俊1,2,谷口昇志2,林武司2,矢部志史理1,松下景1,鐘ヶ江弘美2,矢野昌裕2,米丸淳一2(1.農研機構・作物研, 2.農研機構・農情研)   |
| 8:45  | 102 植物ゲノム情報ポータルサイト「Plant GARDEN」の改訂(2023年度・第4四半期版)-進化情報を活用するためのツールの開発<br>☆市原寿子1,山田学1,戸田陽介1,中谷明弘2,山下サマツチャヤ1,清水武彦1,白澤沙知子1,小原光代1,平川英樹1,中村保一1,3,七夕高也1,田畑哲之1,磯部祥子1(1.(公財)かずさDNA研, 2.東大院新領域, 3.遺伝研) | 202 近赤外分光分析による精白米粉のアミノ酸含有率の推定<br>○荒木悦子1,梅本貴之1,堀清純2(1.農研機構・食品研究部門, 2.農研機構・作物研究部門)  | 302 断片的な時系列測定からの成長曲線を推定する:カンキツの成長評価への応用<br>☆木村奏1,南川舞2,野中圭介3,清水徳朗3,岩田洋佳1(1.東京大・院農学生命科学, 2.千葉大・国際高等研究基幹, 3.農研機構・果樹茶部門)   |
| 9:00  | 103 タバコ EMS 変異体 2,000 系統の Whole genome sequencing と変異データベース構築<br>○宇田川久史,竹内貴規,高倉由光(日本たばこ産業(株)葉たばこ研究所)  | 203 気候変動下でのイネの理想草型形成と増収に寄与する「コシヒカリ」由来の遺伝子 MP3 の単離<br>○高井俊之1,谷口洋二郎2,高橋徳2,長崎英樹6,山本英司5,廣瀬咲子2,原奈穂2,赤司裕子3,井藤純3,荒井(三王)由美子2,堀清純2,福岡修一2,酒井英光2,常田岳志2,白井靖浩2,中村浩史7,川村健介1,浅井英利1,石崎琢磨1,圓山恭之進1,持田恵一4,小林伸哉1,2,近藤始彦2,8,辻寛之3,8,辻本泰弘1,長谷川利純2,宇賀優作2(1.国際農研, 2.農研機構, 3.横浜市立大学, 4.理研, 5.明治大学, 6.かずさDNA研究所, 7.太陽計器, 8.名古屋大) | 303 精円フーリエ係数を用いたトウガラシ果実形状のゲノミック予測<br>☆熊野御堂由依1,松島憲一2,デアンドレアマルシルビア3,パラソバレンティノ3,根本和洋2,近藤文哉3,4,5(1.信州大学大学院総合理工学研究科, 2.信州大学学術研究院農学系, 3.モーリーゼ大学農学部, 4.信州大学大学院総合理工学研究科, 5.日本学術振興会特別研究員)     |
| 9:15  | 104 交雑起源の検証に向けたアラインメントフリーな新手法の開発<br>☆美濃地弘樹1,堺俊之1,太田敦士1,杉原優2,工藤葵1,寺内良平1,3(1.京都大・院農学, 2.The Sainsbury Laboratory, 3.岩手生工研)  | 204 北海道における密粒直立穂多収遺伝子 DEP1 を導入した水稲育成系統の特性<br>○木下雅文1,道満剛平2,堀川謙太郎1,山下陽子2,阿出川さとみ2,相馬ちひろ2(1.道総研・上川農試, 2.道総研・中央農試)   | 304 3D データから学習させたサツマイモの腐敗リスク検知システムの開発<br>○田口和憲1,兒玉晋洋2,西中未央1,井上博喜3,郭威2,西岡洋一3(1.農研機構 中日本農研, 2.東京大学, 3.農研機構 九州農研)   |
|       | ◆座長 星野友紀(山形大)   | ◆座長 高井俊之(国際農研)  | ◆座長 田口和憲(農研機構)   |
| 9:30  | 105 ゲノムリシーケンスデータを活用したジャガイモ Y ウイルス抵抗性遺伝子 Rychc に対する KASP マーカーの開発<br>○浅野賢治1,2,Jeffrey Endelman2(1.農研機構・北海道農業研究センター, 2.ウィスコンシン大学マディソン校)  | 205 ゲノム編集によるシンク容量向上を目指した <i>Gn1a</i> ノックアウトイネ系統の野外栽培試験. II [IR64] を原品種に用いた場合<br>○小松晃1,大武美樹1,永田真紀1,加藤浩2,近藤始彦3(1.農研機構・生物機能利用研究部門, 2.農研機構・作物研究部門, 3.名古屋大学大学院生命農学研究科)   | 305 イチゴ交配実生鉢上げ個体の機械学習による定植個体の画像選抜<br>○山田栄成1,河田智明1,望月達史1,野村祐一郎2,峰野博史2(1.静岡県農林技術研究所, 2.静岡大学情報学部)   |
| 9:45  | 106 DNAMarkMaker: NGS 由来リードのリシーケンスデータを用いた効率的な ARMS および CAPS マーカー設計ソフトの開発<br>☆齊賀空知1,瀬川天太1,高田茉莉奈1,熊澤利輝1,原壽士1,山川博幹2,高木宏樹1(1.石川県立大学, 2.農研機構・作物研)  | 206 ザンビアのインド型イネ品種 Supa の遺伝的特徴づけ<br>○福田善通1,佐藤雅志2,鳥山欽哉2,小林柘樹1,長野高史1,望月郎1(1.琉球大学, 2.東北大学)  | 306 コムギ種子の画像解析から製粉歩留を推測する高製粉性コムギ選抜法<br>○加藤啓太,池田達哉,伴雄介,川口謙二,伊藤美環子(農研機構・西日本農業研究センター)   |
| 10:00 | 107 <i>Eustoma</i> 属種間交雑を利用した花卉長制御に関与する QTL 解析<br>○川勝恭子1,永野惇2,福田直子1,川勝泰二3(1.農研機構・野菜花き部門, 2.龍谷大学, 3.農研機構・生物機能利用部門)   | 207 イネ矮小突然変異体 <i>d1</i> を用いた節間伸長パターンを制御する QTL の検出 (1)<br>☆Sandar Moe1, Thi Quynh Ha1, Vincent Pamugas Reyes1, 土井一行1, 三浦孝太郎2, 前野哲輝3, 津田勝利3,4, 永井啓祐5, 声崎基行5(1.名古屋大学大学院生命農学研究科, 2.福井県立大学生物資源学部, 3.国立遺伝学研究所, 4.総合研究大学院大学, 5.名古屋大学生物機能開発利用研究センター)  | 307 多収無限伸育型ダイズの育成に向けた北海道における粒大の育種選抜指標<br>☆五十嵐秀成1,加賀秋人2,山口直矢3(1.道総研・十勝農試, 2.農研機構・作物研究部門, 3.道総研・中央農試)  |
| 10:15 | 108 ダイズ赤色種皮の色素と原因遺伝子の同定<br>☆菅波真央1,小島創一2,吉田英樹1,高橋秀和1,3,二瓶直登1,3,松田幹1,3,渡辺正夫4,松岡信1(1.福島大学食農学類附属醸造研究所, 2.東北大学大学院農学研究科, 3.福島大学食農学類, 4.東北大学大学院生命科学研究科)  | 208 ◆座長 岡田聡史(名古屋大)<br>イネ矮小突然変異体 <i>d1</i> を用いた節間伸長パターンを制御する QTL の検出 (2)<br>☆Thi Quynh Ha1, Sandar Moe1, Vincent Pamugas Reyes1, 土井一行1, 三浦孝太郎2, 前野哲輝3, 津田勝利3,4, 永井啓祐5, 声崎基行5(1.名古屋大学大学院生命農学研究科, 2.福井県立大学生物資源学部, 3.国立遺伝学研究所, 4.総合研究大学院大学, 5.名古屋大学生物機能開発利用研究センター)  | 308 アズキの機械収穫適性評価と理想草型に関する考察<br>☆細川優介1,吉田邦彦1,関口建二1,長澤秀高1,白澤健太2,山口直矢3(1.道総研・十勝農試, 2.かずさDNA研究所, 3.道総研・中央農試)   |
| 10:30 | 109 ◆座長 川勝恭子(農研機構)<br>ダダチャマメにおける良食味関連 QTL の同定と責任遺伝子の推定<br>☆塩谷直弘1,横山紗季2,高木悠太1,宮城敦子1,2,川合真紀3,小木曾映里4,星野友紀1,2(1.山形大・院農, 2.山形大・農, 3.埼玉大・院理工, 4.科博・分生多研資セ)  | 209 葉緑体 <i>trnF</i> 領域の多型解析に基づくペニバナ遺伝資源の遺伝的分化の解明<br>☆細野浩平1,木村葉子2,鈴木花2,笹沼恒男1,2(1.山形大・院農, 2.山形大・農)  | 309 ◆座長 加藤啓太(農研機構)<br>「赤豆」由来アズキ落葉病抵抗性に関与するゲノム領域<br>○佐藤圭1,長澤秀高2,阿出川さとみ1,相馬ちひろ1,鈴木孝子1,3(1.道総研・中央農試, 2.道総研・十勝農試, 3.道総研・農研本部)  |
| 10:45 | 110 MSH1 はミスマッチした塩基対の周囲に二重鎖切断を導入することでミトコンドリアゲノムの修復に関与している<br>☆周暢,堤伸浩,有村慎一(東大院農学生命科学研究科,植物分子遺伝学研究室)  | 210 アワの猫手(猫足)は YABBY 遺伝子の変異か?<br>○福水健二1,阿部成1,阿部陽2,濱下求1,渡邊いぶき1(1.東立広島大学生物資源科学部, 2.岩手生工研)   | 310 北海道での有用なコムギ赤さび病抵抗性遺伝子と抵抗性遺伝子 <i>Lr34</i> の効果<br>☆道満剛平1,大西志全2,神野裕信1,2,前野真司1,相馬ちひろ1,其田達也2,伊藤裕之3,中丸親子3,池永幸子3,八田浩一4,5(1.道総研・中央農試, 2.道総研・北見農試, 3.農研機構・東北農研, 4.農研機構・北海道農研, 5.農研機構・作物研) |
| 11:00 | 111 シロイヌナズナの染色体で遺伝子量補償は起こるのか<br>生駒拓也1,西嶋遼2,池田美穂1,2, Asanga Deshapriya Nagalla3,阿部知子3,○風間裕介1,2,3(1.福井県大・院生物資源, 2.福井県大・生物資源, 3.理研・仁科センター)   |   | 311 イオンビーム照射によって誘発されたイネ白葉枯病新規抵抗性系統の特性と抵抗性の遺伝様式<br>☆高橋龍成1,加藤神成流1,前田幸暉浩1,柴田雪花1,湯山祐樹2,田浦悟3,一谷勝之4(1.鹿大・院農林水産学, 2.鹿児島農総セ徳之島, 3.鹿大・遺伝子実験施設, 4.鹿大・農学)                                       |
| 11:15 |   |   | 312 高温登熟下における胴割れ耐性品種育成と同系統に作出した巨大胚ならびに高脂肪酸胚乳による付加価値創出<br>○石川隆二,ティン ティラム(弘大・農生)   |

| 第4会場           |   | 第5会場             |  | 3月16日 |
|----------------|---|------------------|--|-------|
| ◆座長 深井英吾(新潟大)  |   | ◆座長 白澤健太(かずさDNA) |  |       |
| 401            | 葉緑体ゲノム標的塩基編集による、除草剤メトリフジン耐性シロイヌナズナの作出<br>☆中里一星1, 矢守航1, 松村浩由2, 奥野未来3, 堤伸浩1, 有村慎一1(1. 東大・院農生, 2. 立命館大・生命科学, 3. 久留米大・医)  | 501              | ダイコンのオグラ型雄性不稔に対する新規稔性回復遺伝子(Rfs)における変異<br>○山岸博1, 福永明日美2, 竹中瑞樹3, 寺地徹2(1. 京都産業大 名誉教授, 2. 京都産業大・生命, 3. 京大院・理)  | 8:30  |
| 402            | イネの脂質関連遺伝子群 OsGELP は緯度に応じたハプロタイプを持つ<br>☆ KAYYIS MUAYADAH LUBBAI, 山森 晃一2, 貴島 祐治1(1. 北大院農, 2. 京大院農)   | 502              | 温度感受性雄性不稔因子の同定<br>○川岸万紀子1, 横井彩子1, 遠藤 誠1,4, 布日司2, 加藤 浩1,5, 戸澤 謙3(1. 農研機構・生物研, 2. 農研機構・野花研, 3. 埼玉大・院理工学, 4. 現: タキイ種苗, 5. 現: 東京農大)  | 8:45  |
| 403            | 過去109年間に育成された日本のイネ284品種の葯・柱頭の形態の遺伝的变化と窒素施肥への応答性<br>○下野 裕之1,2, 佐藤 玲央1, 阿部 陽3, 西尾 治幾4,5, 工藤 洋5(1. 岩手大・農, 2. 岩手大・次世代アグリノベ研究センター, 3. 岩手生工研, 4. 滋賀大・データサイエンス AI ノベ研究センター, 5. 京大・生農研)                                       | 503              | 温度感受性雄性不稔因子のタンパク質解析<br>☆戸澤 謙1, 高荷 幸恵1, 手塚 友規1, 須田 啓1, 厚沢 季美江2, 横井 彩子3, 金子 康子4, 豊田 正嗣1, 川岸 万紀子3(1. 埼玉大・院理工, 2. 埼玉大・科学分析セ, 3. 農研機構・生物研, 4. 埼玉大・教)  | 9:00  |
| 404            | 異なる土壌 pH に調整したストレス圃場におけるオオムギコアコレクションの栽培<br>○久野 裕, 白土 寛子(岡山大・植物研)  | 504              | 台中 65 号の細胞質を持つ <i>Oryza glaberrima</i> の細胞質雄性不稔性原因遺伝子は <i>orf288</i> である<br>☆五十嵐 圭介1, 岩井 裕子1, 高塚 歩1, 風間 智彦2, 有村 慎一3, 鳥山 欽哉1(1. 東北大・院・農, 2. 九州大・院・農, 3. 東大・院・農生命)   | 9:15  |
| ◆座長 久野裕(岡山大)   |   | ◆座長 川岸万紀子(農研機構)  |  |       |
| 405            | ゲノム編集による上流欠失イネを用いた <i>Ghd7</i> の発現制御機構の解析<br>○小郷 裕子1, 伊藤 博紀2, 内藤 健3, 井澤 毅4(1. 農研機構 野花研, 2. 農研機構 作物研, 3. 農研機構 遺伝資源研究センター, 4. 東大・院農学生命科学)   | 505              | アフリカ野生イネ <i>Oryza longistaminata</i> に見出された雑種不稔遺伝子 <i>S13</i> の単離<br>☆高西 若菜, ジンマー ミント, 貴島 祐治, 金澤 章, 小出 陽平(北海道大学大学院農学院)   | 9:30  |
| 406            | 遠位シス制御因子による開花抑制遺伝子 <i>Ghd7</i> の転写調節<br>☆河内 匠1, 小郷 裕子2, 三村 真生3, 井澤 毅3(1. 東京大学農学部, 2. 農研機構・野菜花き研究部門, 3. 東大・院農学生命科学)  | 506              | AA ゲノム <i>Oryza</i> 属種の種子発達に関与する重複遺伝子 <i>SDV1, SDV2</i><br>☆柴田 雪花1, 豊元 大希2, 植村 真郷3, 田浦 悟4, 佐藤 雅志5, ヘンリー ロバート6, 石川 隆二7, 一谷 勝之2,8(1. 鹿大・院農林水産学, 2. 鹿大・院連合農学, 3. 鹿大・院農学, 4. 鹿大・遺伝子実験施設, 5. 東北大・院農学, 6. クイーンズランド大学・QAAFI, 7. 弘前大・農学生命科学, 8. 鹿大・農学) | 9:45  |
| 407            | イネにおける <i>our1</i> 変異による側根発育側促進機構の理解とさらなる根系改良への応用<br>☆ Yihao Dong1, 金生 真綾1, Cornelius Wainaina2, Patrick Louie Lipio1, 犬飼 義明3(1. 名大・院生命農学, 2. ジョモケニヤッタ農工大・園芸および食料安全保障, 3. 名大・農学国際教育研究センター)                            | 507              | <i>Osemf2a</i> 変異体を用いた <i>Oryza sativa</i> × <i>O. officinalis</i> の雑種種子における生殖的隔離の打破<br>☆櫻井 楓也1, 殿崎 薫1, 古海 弘康2, 佐藤 豊2, 木下 哲1(1. 横浜市大・木原生研, 2. 遺伝研)   | 10:00 |
| 408            | イネ葯小胞子はカルス形成能を持つか?<br>☆徐 美蘭1, 工藤 七海1, Christabell Nachilima1, 宮本 康介1, 金 鍾明2, 貴島 祐治1(1. 北大院農, 2. 東大院農学生命)  | 508              | SSR マーカーを用いたトウガラシ属の系統解析および種間交雑における雑種弱勢をはじめとする生殖隔離機構の調査<br>☆世故 捷之助, 横井 修司, 手塚 孝弘(大阪公大・院農)   | 10:15 |
| ◆座長 小郷裕子(農研機構) |   | ◆座長 五十嵐圭介(東北大)   |  |       |
| 409            | イネの胚発生における <i>Trehalose-6-Phosphate Synthase 1</i> 遺伝子の解析<br>☆本間 大介1, 手塚 拓海3, 三野 実鈴2,3, 岡田 萌子1, 岡崎 桂一1, 佐藤 豊2,3, 深井 英吾1(1. 新潟大・院自然科学, 2. 遺伝研・植物遺伝, 3. 総研大・生命科学)   | 509              | Bulked segregant RNA-Seq を用いたタバコ雑種致死原因遺伝子 <i>HLA1</i> の遺伝的マッピング<br>☆永井 翔太, 横井 修司, 手塚 孝弘(大阪公大・院農)   | 10:30 |
| 410            | トマトの着果制御に関与する転写因子と下流遺伝子群の解析<br>☆野村 悠華子1, 陸 宇2, 原田 圭一郎1, 篠崎 良仁2, 榎元 寛文3, 矢野 亮一4, 小嶋 美紀子5, 竹林 裕美子5, 榎原 均6, 江面 浩2,7, 有泉 亨2,7(1. 筑波大院・生命地球科学, 2. 筑波大・生命環境, 3. 帝京大・理工, 4. 農研機構・分析研, 5. 理研・CSRS, 6. 名大院・生命農, 7. 筑波大・T-PIRC) | 510              | 発生生殖因子を活用した細胞工学的技術の構築<br>○井川 智子1,2,3, 佐藤 優加1, Berbudhi Bintang Pratama1, 小山 翔平1, 吉村 有1(1. 千葉大・院・園芸, 2. 千葉大・植物分子科学, 3. 千葉大・宇宙園芸)  | 10:45 |
| 411            | サツマイモにおいて未だ発見されていないネコブセンチュウ抵抗性遺伝子の機能証明に向けた形質転換体の作出<br>☆泉谷 真1, 大谷 基泰2, 中谷 内 修2, 田淵 宏朗3, 西田 英隆1, 加藤 謙司1, 西村 和紗1, 門田 有希1(1. 岡山大・院環境生命自然, 2. 石川県大・生資研, 3. 農研機構・九沖研)   | 511              | アブラナ科の花粉吸水制御における雌しべ乳頭細胞の細胞膜 H <sup>+</sup> -ATPase の関与<br>☆林 真妃1, 福島 和紀1, 増子 (鈴木) 潤美1, 木下 俊則2,3, 井上 晋一郎2, 高山 誠司4, 高田 美信1, 渡辺 正夫1(1. 東北大・院生命科学, 2. 名古屋大・院理, 3. 名古屋大・ITbM, 4. 東京大・院農学生命科学)   | 11:00 |
| 412            | サツマイモ品種「ジェイレッド」のゲノム編集に向けた形質転換法の確立と培養条件の検討<br>☆中村 千里1, 泉谷 真2, 大谷 基泰3, 松井 英謙2, 田淵 宏朗4, 西村 和紗2, 西田 英隆2, 加藤 謙司2, 門田 有希2(1. 岡山大・農, 2. 岡山大・院環境生命自然, 3. 石川県大・生資研, 4. 農研機構・九沖研)   | 512              | 小麦葯培養における W14 培地の改良と北海道の小麦育種への適用性評価<br>○丸田 泰史1, 佐藤 圭2, 富田 謙一2, 相馬 ちひろ2, 奥山 昌隆3, 鈴木 孝子4(1. 道総研・道南農試, 2. 道総研・中央農試, 3. 道総研・十勝農試, 4. 道総研・農研本部)   | 11:15 |

## 3月17日(日)午後 口頭発表プログラム

| 3月17日 | 第1会場   | 第2会場   | 第3会場  |
|-------|--|--|---|
|       | ◆座長 吉川 貴徳 (遺伝研)  | ◆座長 菅波 眞央 (福島大)  | ◆座長 小林 麻子 (福井農試)  |
| 13:15 | 113 日本の温帯ジャポニカイネ交雑集団を用いた出穂期および耐倒伏性に関する新規 QTL の同定<br>☆千装 公樹1, 山崎 将紀2, 安達 俊輔1, 大川 泰一郎1 (1. 東京農工大学農学部, 2. 新潟大学大学院自然科学研究科)   | 213 北海道のインゲンマメ 早生品種に見られるダイズ E3 オルソログの機能欠損変異<br>○山口 直矢1, 田中 啓介2, 細井 昂人3, 中川 浩輔4, 佐藤 博一4 (1. 道総研中央農試, 2. 東京情報大, 3. 東京農大ゲノム解析センター, 4. 道総研十勝農試)  | 313 倒れにくく葉落ちが優れるインゲンマメ (手亡類) 新品種「舞てぼう」の育成<br>○中川 浩輔1, 堀内 優貴1, 佐藤 博一1, 長澤 秀高1, 奥山 昌隆1, 佐藤 仁2, 萩原 誠司1, 山口 直矢2, 齋藤 優介3 (1. 道総研・十勝農試, 2. 道総研・中央農試, 3. 道総研・上川農試)   |
| 13:30 | 114 ソルガムにおけるアブラムシ耐性に関する遺伝子探索<br>☆乾 倫之石, 石森 元幸, 田中 瑠人, 牧野 葵, 山田 淳子, 堤 伸浩, 高梨 秀樹 (東京大学大学院農学生命科学研究科)  | 214 育種事業データを活用したアズキ茎疫病抵抗性に関するゲノムワイドアソシエーション解析<br>☆堀川 謙太郎1, 栢森 美如1, 白澤 健太2, 山口 直矢3, 相馬 ちひろ3, 佐藤 圭3, 長濱 恵1, 小倉 玲奈4, 藤根 統5, 東岱 孝司6, 村田 暢明6, 長澤 秀高6, 堀内 優貴6 (1. 道総研・上川農試, 2. かずさ DNA 研, 3. 道総研・中央農試, 4. 道総研・北見農試, 5. 道総研・花野菜技術センター, 6. 道総研・十勝農試) | 314 サツマイモ基腐病に強い抵抗性を有する青果用サツマイモ新品種「べにひなた」の育成およびウイルスフリー系統の作出と選抜<br>○川田 ゆかり1, 境垣内 岳雄1, 末松 恵祐1, 甲斐 由美1, 境 哲文1, 高畑 康浩1, 榎本 真2, 小林 晃1 (1. 農研機構・九州沖縄農業研究センター, 2. カネコ種苗 (株))                                |
| 13:45 | 115 高密度連鎖地図を用いたオオムギ匍匐性を制御する遺伝子のマッピング<br>☆西村 和紗1, 大熊 眞歩2, 福岡 七海2, 門田 有希1, 西田 英隆1, 加藤 鎌司1 (1. 岡山大学・院環境生命自然, 2. 岡山大学・院環境生命)   | 215 ゲノム解析を用いたバレイショ育種選抜の可能性<br>○品田 博史1, 山口 直矢2, 白澤 健太3 (1. 道総研北見農試, 2. 道総研中央農試, 3. かずさ DNA 研究所)   | 315 品種特異的な挿入欠失を利用したサツマイモ品種「べにひなた」識別用 DNA マーカーの開発<br>○田中 勝, 川田 ゆかり, 小林 晃 (農研機構・九州沖縄)   |
| 14:00 |  | 216 オウトウ育種の効率化を目指した果実形質のゲノミック予測モデル作成と検証<br>☆島田 直人1, 白澤 健太2, 山口 直矢1, 佐藤 三佳子1, 吉田 昌幸1 (1. 道総研中央農試, 2. かずさ DNA 研)   | 316 日本産アズキのゲノム解析<br>○大田 竜也1, 那須 浩郎2 (1. 総研大・統合進化科学研究センター, 2. 岡山理大・基盤教育センター)   |
|       | ◆座長 内藤 健 (農研機構)  | ◆座長 山口 直矢 (道総研)  | ◆座長 大西 志全 (道総研)   |
| 14:15 | 117 ウンシュウミカンのクローナル進化におけるゲノム構造の比較解析<br>☆松田 倫果1, 増田 佳苗1, Isabelle Henry2, Luca Coma2, 赤木 剛士1 (1. 岡山大学・院環境生命自然科学研究科, 2. カリフォルニア大・デービス校)   | 217 Nanopore ロングリードの WGS により明らかとなったサツマイモ澱粉に低温糊化性をもたらす SSI 遺伝子の変異型アレル<br>☆中原 貴臣1, 片岡 育哉1, 志茂 暉月1, 多田 健太郎2, 田中 勝3, 小林 晃3, 泉谷 真4, 内藤 健5, 西村 和紗4, 西田 英隆4, 加藤 鎌司4, 門田 有希4 (1. 岡山大学・農, 2. 岡山大学・院環境生命, 3. 農研機構・九州研, 4. 岡山大学・院環境生命自然, 5. 農研機構・資源研)   | 317 宮崎在来野菜「佐土原」ナスの品種改良～品種間交雑による「南九 センサ No.4 号」ナス新品種の育成～<br>○陳 蘭庄, 江本 尚哉, 比江島 伴和, 吉崎 新太, 岩切 昇, 大西 泰介, 野崎 隆之介, 高根 淳司, 松下 侑世 (南九州大・環境園芸)   |
| 14:30 | 118 マンテマ属における巨大性染色体の進化動態<br>○赤木 剛士1, 藤田 尚子1, 増田 佳苗1, 白澤 健太2, 長岐 清孝3, 堀内 綾乃1, 葉田 恵理子1, 久能 理子1, 中村 光希3, 池田 陽子3, 牛島 幸一郎1, Deborah Charlesworth4 (1. 岡山大学・院環境生命自然科学, 2. かずさ DNA 研究所, 3. 岡山大学・資源植物科学, 4. エディンバラ大・進化生態学)                           | 218 サツマイモ塊根へのアントシアニン蓄積に関わる遺伝子座の同定と候補遺伝子の配列解析<br>☆堀田 望未1, 岡田 吉弘2, 神崎 浩1, 栗原 未結3, 西村 和紗1, 西田 英隆1, 加藤 鎌司1, 門田 有希1 (1. 岡山大学・院環境生命自然, 2. 農研機構・九州研, 3. 岡山大学・院環境生命)   | 318 マーガレットとロマンカモミールの交配で得られた属間雑種の特性と夏季開花性の新品種「ニューサマーステラ」の育成<br>○勝岡 弘幸1, 藤井 俊行1, 加藤 智恵美1, 馬場 富二夫2, 種石 始弘1, 佐々木 俊之3 (1. 静岡県農林技術研究所・伊豆農業研究センター, 2. 静岡県賀茂農林事務所, 3. 静岡県農林技術研究所・果樹研究センター)                  |
| 14:45 | 119 青森県東北町で栽培されている「ところ」について<br>☆夏目 俊1, 杉原 優2, 工藤 葵3, 及川 香梨1, 清水 元樹1, 石川 裕子3, 西原 昌宏1, 阿部 陽1, 印南 秀樹4, 寺内 良平1,3 (1. 公益財団法人岩手生物工学研究センター, 2. The Sainsbury Laboratory, University of East Anglia, 3. 京都大学農学研究科栽培植物起源学研究室, 4. 総合研究大学院大学統合進化科学センター) | 219 エノコログサとハマエノコノの雑種由来 RIL 集団を用いた草型の QTL 解析<br>平大貴1, 福水 健二2, ○大迫 敬義3 (1. 京府大・生命環境, 2. 県立鳥大・生物資源科学, 3. 京府大・院生命環境科学)   | 319 歌川広重は、193 年前にソメイヨシノの原木を描いていた<br>○中村 郁郎 (千葉大・院園芸学)   |
| 15:00 | 120 ◆座長 古田 智敬 (岡山大)<br>異質 4 倍体ワサビのゲノム解析<br>○田中 裕之1, 奈良 雅大1, 豊田 敦2, 山根 京子3, 伊藤 武彦1 (1. 東京工業大学生命理工学院, 2. 遺伝研比較ゲノム, 3. 岐阜大学応生)  | 220 ◆座長 堀川 謙太郎 (道総研)<br>アマランサス脱粒性原因遺伝子の探索に関する遺伝学的研究<br>☆藤原 怜生1, 近藤 文哉2,3, 御子柴 宝4, 松島 憲一5, 根本 和洋5 (1. 信州大学農学部, 2. 信州大学大学院総合医理工学研究科, 3. 日本学術振興会特別研究員, 4. 信州大学大学院総合理工学研究科, 5. 信州大学学術研究院農学系)   | 320 SSIa 遺伝子変異の組み合わせを変えたクラブコムギ由来のグルテニンサブユニット遺伝子を保有する温暖地向け軟質コムギ系統の菓子適性<br>○藤郷 誠1, 八田 浩一1, 岡田 岳之1, 小島 久代1, 藤田 雅也2, 山守 誠1, 松中 仁3, 中村 和弘2, 池田 達哉4 (1. 農研機構・作物研, 2. 農研機構・本部, 3. 農研機構・北農研, 4. 農研機構・西日本農研) |
| 15:15 | 121 大規模シーケンスによる <i>Oryza rufipogon</i> の集団構造解析<br>○吉川 貴徳, 佐藤 豊 (国立遺伝学研究所)  | 221 GWAS によるイチゴうどんこ病レース 1 抵抗性遺伝子の探索<br>海老原 克介, ☆犬伏 野咲 (千葉県農林総合研究センター)  | 321 ◆座長 山形 悦透 (九州大)<br><i>Aegilops mutica</i> 細胞質はコムギの育種に役立つのか?<br>○村井 耕二, 渡邊 裕子, 多田 博子 (福井県大・創造農学)   |
| 15:30 | 122 アズキの栽培化起源に関する集団ゲノム解析<br>○内藤 健1, Chien Chih-Cheng2, 武藤 千秋1, Cheng-Ruei Lee2 (1. 農研機構・遺伝資源研究センター, 2. 国立台湾大学生物進化生態学研究所)   | 222 小ギクにおける開花期に関連するゲノムワイド関連解析<br>○稲崎 史光1, 白澤 健太2, 栗原 冴子1,3, 郷内 武1 (1. 茨城農総生理工学研究科, 2. かずさ DNA 研究所, 3. 常陸大宮地域農業改良普及センター)  | 322 比較ゲノム解析による <i>O. sativa ssp. japonica</i> とイネ属 AA ゲノム種のイントログレーション領域の探索<br>○小柳 香奈子1, 神徳 雄太2, 貴島 祐治3 (1. 北海道大学 大学院情報科学研究院, 2. 北海道大学 大学院農学院, 3. 北海道大学 大学院農学研究院)                                    |
| 15:45 | 123 ゲノム塗り絵<br>渡辺 脩斗1, 吉田 英樹2, ○小林 麻子1, 坂 紀邦3, 菅波 眞央2, 松岡 信2 (1. 福井農試, 2. 福島大学, 3. 名古屋大学)   | 223 <i>Artemisia princeps</i> と <i>A. vulgaris</i> の種間雑種の作出および同定<br>☆徐 天穎, 横井 修司, 手塚 孝弘 (大阪公大・院農)  | 323 インディカ遺伝的背景において日本での栽培可能地域を拡大させる早生遺伝子<br>○THI LAM DINHI, 植田 佳明2, 齋藤 大樹2, 石川 隆二1 (1. 弘前大学・農学生命科学部, 2. 国際農研)  |

| 第4会場             |   | 第5会場            |   | 3月17日 |
|------------------|---|-----------------|---|-------|
| ◆座長 塩野 克宏 (福井県大) |   | ◆座長 渡邊 啓史 (佐賀大) |   |       |
| 413              | アサガオが温帯アジアに分布するのに必要だったと推定される <i>InCO</i> のフレームシフト変異<br>勝山弘章 1,5, 江面恭佑 1,6, 星野敦 2,3, 仁田坂英二 4, ○久保山 勉 1 (1. 茨大・農, 2. 基生研, 3. 総研大, 4. 九州大学大学院理学研究院, 5. 筑波大・生命環境, 6. 茨城県南農林事務所)   | 513             | カブ品種「アカマル」の根茎肥大部地下部着色に関する遺伝子領域が地下部非着色型のカブ品種間との交雑後代の表現型におよぼす効果<br>☆瀬川 天太 1, 宮本海征 1, 殿崎 薫 2, 熊澤 利輝 1, 原 蒔土 1, 齊賀 空知 1, 高田 茉莉奈 1, 高木 宏樹 1 (1. 石川県立大学, 2. 横浜市立大学)   | 13:15 |
| 414              | 微小管のイメージングと重合阻害によるイネシユート頂メリステムの発生学的解析<br>☆高田 峻輔 1, 田中 真理 1, 武内 秀憲 2, 丸山 大輔 1, 井藤 純 1, 辻 寛之 1,3 (1. 横浜市大・木原生物学研究所, 2. 名古屋大・トランスフォーメティブ生命分子研究所, 3. 名古屋大・生物機能開発利用研究センター)   | 514             | キャッサバ塊根澱粉合成酵素の機能特性<br>☆内海 好規 1, 内海 雅佳子 1, 田中 真帆 1,2, 土橋 竜也 3, 藤原 英樹 3, 関 原明 1,2,4 (1. 理研 環境資源科学研究センター, 2. 理研 開拓研究本部, 3. 松谷化学工業株式会社, 4. 横浜市大 木原生物学研)   | 13:30 |
| 415              | 一細胞解像度 3D 免疫染色によるイネ茎頂メリステムのエピジェネティック修飾解析<br>☆森下 友梨香 1, 高田 峻輔 2, 吉田 綾 2, 肥後 あすか 2, 辻 寛之 3 (1. 名古屋大・農学, 2. 横浜市大・木原生物学研究所, 3. 名古屋大・生物機能開発利用研究センター)   | 515             | 稲の <i>MPK4</i> の自然変異は個葉光合成能力を改良する<br>☆土田 忠正 1, 安達 俊輔 2, 杉本 和彦 1, 谷口 洋二郎 1, 平沢 正 2, 山本 敏矢 1,3, 田中 淳一 1,4 (1. 農研機構, 2. 東京農工大, 3. 岡山大, 4. 筑波大)   | 13:45 |
| 416              | オオムギ花序の abortion における幹細胞機能の低下および細胞死の細胞生物学的解析<br>☆松本 大輝 1, 井藤 純 1, 野村 有子 1, 若崎 真由美 2, 佐藤 蘭子 2, 武田 (神谷) 紀子 2, 最相 大輔 3, 豊岡 公德 2, 辻 寛之 1,4 (1. 横浜市大・木原生物学研究所, 2. 理研・環境資源科学研究センター, 3. 岡山大学資源植物科学研究所, 4. 名古屋大・生物機能開発利用研究センター) | 516             | 胚乳と花粉において異なる澱粉関連変異の遺伝的相互作用<br>○松島 良 1, 久野 裕 1, McNelly Rose2, 金 俊植 1,3, Fahy Brendan2, 追留 那緒子 4, Seung David2, 藤田 直子 4, 佐藤 和広 1 (1. 岡山大学資源植物科学研究所, 2. John Innes Centre, 3. 理化学研究所環境資源科学研究センター, 4. 秋田県立大学生物資源科学部) | 14:00 |
| ◆座長 辻 寛之 (名古屋大)  |   | ◆座長 松島 良 (岡山大)  |   |       |
| 417              | コムギ・エギロブス属における穎果と穎の接着・非接着に関する遺伝変異—オオムギ属との比較<br>○武田 真 (岡山大学 資源植物科学研究所)   | 517             | イネ胚乳発生過程における DNA メチル化の変動<br>☆上地 真子, 殿崎 薫, 小野 明美, 木下 哲 (横浜市立大学 木原生物学研究所)   | 14:15 |
| 418              | オオムギ突然変異系統のエキソーム解析による出穂期関連突然変異遺伝子の探索<br>☆武田 尚馬 1, 大熊 眞歩 2, 伊吹 千尋 1, Ajmal Mandozai3, 西村 和紗 3, 門田 有希 3, 加藤 鎌司 3, 西田 英隆 3 (1. 岡山大・農, 2. 岡山大・院・環境生命, 3. 岡山大・院・環境生命自然)  | 518             | シロイヌナズナの <i>ddm1</i> 変異体の系統間比較<br>西村 慶太, 國田 康平, 神矢 良樹, ○藤本 龍 (神戸大・院農学)  | 14:30 |
| 419              | オオムギ RIL 集団における出穂期関連遺伝子型と出穂期不安定性の関連<br>☆大熊 眞歩 1, 西村 和紗 2, 門田 有希 2, 加藤 鎌司 2, 西田 英隆 2 (1. 岡山大・院環境生命, 2. 岡山大・院環境生命自然)  | 519             | 植物ミトコンドリア DNA における CpG メチル化の探索<br>☆鐘 昱陽 1, 奥野 未来 2, 堤 伸浩 1, 有村 慎一 1 (1. 東京大・農, 2. 久留米大・医)   | 14:45 |
| ◆座長 山内 卓樹 (名古屋大) |   | ◆座長 藤本 龍 (神戸大)  |   |       |
| 420              | アマゾン川流域に自生する野生イネ <i>Oryza glumaepatula</i> の恒常的な酸素漏出バリア形成に関わる遺伝子領域の同定<br>○塩野 克宏 1, 江尻 真斗 1, 西嶋 遼 1, 馬場 美幸 1, 芝 日菜子 1, 山形 悦透 2, 三浦 孝太郎 1 (1. 福井県大・生物資源学, 2. 九州大・院農学研究院)  | 520             | シロイヌナズナの第二染色体に存在する NUMT (Nuclear Mitochondrial DNA) 配列 641Kb の切除の試み<br>☆伊藤 雄吾, 鐘 昱陽, 中里 一星, 堤 伸浩, 有村 慎一 (東京大学大学院農学生命科学研究科 植物分子遺伝学研究室)   | 15:00 |
| 421              | ダイズの二次通気組織形成過程におけるジャスモン酸の役割<br>☆渡邊 海斗 1, 馬場 唯菜 1, 縣 歩美 1, 豊田 敦 2, 佐藤 豊 2, 中園 幹生 1, 高橋 宏和 1 (1. 名大・院生命農学, 2. 国立遺伝学研究所)   | 521             | 人工融合タンパク質によるオルガネラゲノム特異的なランダム変異導入技術, 形質転換 T <sub>1</sub> 世代の評価<br>☆小坂 七海 1, 原田 佳樹 1, 中里 一星 1, 奥野 未来 2, 伊藤 武彦 3, 堤 伸浩 1, 有村 慎一 1 (1. 東京大・院農学生命科学, 2. 久留米大医, 3. 東京工業大・院生命理工)   | 15:15 |
|                  |   | 522             | 新規のダイズイソフラボン O メチル転移酵素 ( <i>IOMT3</i> ) に生じた変異は 6 ヒドロキシダイゼイン系イソフラボンの蓄積をもたらす<br>○渡邊 啓史 1, 堀谷 正樹 1, 山田 梨袋 1, 太郎浦 奏美 1, 穴井 豊昭 2 (1. 佐賀大農, 2. 九大院農)   | 15:30 |
|                  |   |                 |   | 15:45 |

## 口頭発表 講演番号・座長一覧

| 会場<br>日程    | 第1会場<br>弥生講堂                    | 第2会場<br>農学部1号館<br>第8講義室         | 第3会場<br>農学部2号館化学<br>第1講義室227    | 第4会場<br>農学部2号館<br>YAMASA L.R.106 | 第5会場<br>農学部2号館化学<br>第2講義室121     |
|-------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 3月16日<br>午前 | 101-104<br>高木 宏樹<br>8:30-9:30   | 201-204<br>三浦 孝太郎<br>8:30-9:30  | 301-304<br>細川 優介<br>8:30-9:30   | 401-404<br>深井 英吾<br>8:30-9:30    | 501-504<br>白澤 健太<br>8:30-9:30    |
|             | 105-108<br>星野 友紀<br>9:30-10:30  | 205-207<br>高井 俊之<br>9:30-10:15  | 305-308<br>田口 和憲<br>9:30-10:30  | 405-408<br>久野 裕<br>9:30-10:30    | 505-508<br>川岸 万紀子<br>9:30-10:30  |
|             | 109-111<br>川勝 恭子<br>10:30-11:15 | 208-210<br>岡田 聡史<br>10:15-11:00 | 309-312<br>加藤 啓太<br>10:30-11:30 | 409-412<br>小郷 裕子<br>10:30-11:30  | 509-512<br>五十嵐 圭介<br>10:30-11:30 |

|             |   |                                  |                                 |                                 |                                 |
|-------------|---|----------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 3月17日<br>午前 | ポスター発表 9:00-10:50(弥生講堂・弥生講堂アネックス)         |                                  |                                 |                                 |                                 |
|             | レクチャーコーナー 11:00-12:00(弥生講堂・農学部1号館・農学部2号館) |                                  |                                 |                                 |                                 |
| 3月17日<br>午後 | 113-115<br>吉川 貴徳<br>13:15-14:00           | 213-216<br>菅波 眞央<br>13:15-14:15  | 313-316<br>小林 麻子<br>13:15-14:15 | 413-416<br>塩野 克宏<br>13:15-14:15 | 513-516<br>渡邊 啓史<br>13:15-14:15 |
|             | 117-119<br>内藤 健<br>14:15-15:00            | 217-219<br>山口 直矢<br>14:15-15:00  | 317-320<br>大西 志全<br>14:15-15:15 | 417-419<br>辻 寛之<br>14:15-15:00  | 517-519<br>松島 良<br>14:15-15:00  |
|             | 120-123<br>古田 智敬<br>15:00-16:00           | 220-223<br>堀川 謙太郎<br>15:00-16:00 | 321-323<br>山形 悦透<br>15:15-16:00 | 420-421<br>山内 卓樹<br>15:00-15:30 | 520-522<br>藤本 龍<br>15:00-15:45  |

### 日本育種学会 優秀発表賞 投票方法の改正に関連した注意点

1. エントリー制を採用します。

演題登録時に優秀発表賞の選考対象演題としてエントリーした演題を審査の対象とします。

2. 発表者マークの変更

プログラムや要旨において優秀発表賞の選考対象としてエントリーした演題の発表者印は☆で表記されています。ポスターやスライド作成時に発表者印を表記する際にも統一した記号を使ってくださいますようお願いいたします。

## ポスター発表プログラム (3月17日)

奇数番号 9:00-9:50 偶数番号 10:00-10:50 (東京大学 弥生講堂・弥生講堂アネックス)

### 01. 育種法・育種技術 (Breeding method・Breeding technology)

- P001** ゲノミック予測のモデル更新を加味した育種計画における後代割当戦略の最適化  
☆濱崎 甲資<sup>1</sup>, 津田 宏治<sup>1,2</sup>, 岩田 洋佳<sup>3</sup> (1. 理研・革新知能統合研究センター, 2. 東京大・院新領域創成科学, 3. 東京大・院農学生命科学)
- P002** 植物育種における後代分離を考慮した新規交配戦略の考案  
☆櫻井 建吾<sup>1</sup>, 濱崎 甲資<sup>2</sup>, 稲森 稔<sup>1</sup>, 加賀 秋人<sup>3</sup>, 岩田 洋佳<sup>1</sup> (1. 東大・院農学生命科学, 2. 理研・革新知能統合研究センター, 3. 農研機構・作物研究部門)
- P003** 3D データを用いたサツマイモの腐敗リスク診断モデルを効率的に学習する画像データセットの作成法  
☆兒玉 晋洋<sup>1</sup>, 田口 和憲<sup>2</sup>, 西中 未央<sup>2</sup>, 郭 威<sup>1</sup> (1. 東京大学, 2. 農研機構 中日本農研)
- P004** ムギ類育種における圃場フェノタイプング技術-動画からの穂検出の取り組み-  
☆中村 春貴<sup>1</sup>, 石川 吾郎<sup>1</sup>, 郭 威<sup>2</sup>, 山田 哲也<sup>1</sup>, 藤郷 誠<sup>1</sup>, 高橋 飛鳥<sup>1</sup>, 八田 浩一<sup>1</sup>, 小島 久代<sup>1</sup>, 岡田 岳之<sup>1</sup>, 米丸 淳一<sup>3</sup> (1. 農研機構・作物研究部門, 2. 東大・院・農生科, 3. 農研機構・農業情報研究センター)
- P005** ダイズにおける遺伝子情報を用いた発育予測モデルの汎用性及び精度にモデル構築に用いる品種群, 遺伝子セットと回帰手法の違いが及ぼす影響  
☆森 崇<sup>1</sup>, 西村 和紗<sup>2</sup>, 中野 聡史<sup>3</sup>, 小椋 裕之<sup>4</sup>, 元木 航<sup>2</sup>, 熊谷 悦史<sup>3</sup>, 加賀 秋人<sup>3</sup>, 岩田 洋佳<sup>5</sup>, 岩橋 優<sup>1</sup>, 長坂 京香<sup>1</sup>, 村田 和樹<sup>1</sup>, 木下 有羽<sup>1</sup>, 牧 隆宏<sup>1</sup>, 井上 博茂<sup>1</sup>, 中野 龍平<sup>1</sup>, 中川 博視<sup>3</sup>, 中崎 鉄也<sup>1</sup> (1. 京都大・院農学, 2. 岡山大・院環境生命自然, 3. 農研機構, 4. グランドグリーン株式会社, 5. 東大・院農学生命科学)

### 02. 品種育成・遺伝資源 (Breeding・Genetic Resource)

- P006** サトイモ (*Colocasia esculenta* Schott) における花器形態の変異と栄養形質および倍数性との関連  
☆飯嶋 佑太<sup>1</sup>, 三井 裕樹<sup>1</sup>, 小西 達夫<sup>2</sup> (1. 東農大・生物資源, 2. 進化生物学研究所 (一財))
- P007** 黒穂病抵抗性を有するサトウキビ国内野生種の遺伝的特徴  
☆梅田 周, 服部 太一郎, 樽本 祐助 (農研機構・九州沖縄農業研究センター)
- P008** BC<sub>1</sub>F<sub>1</sub> 世代を用いたイネ品種 台中 65 号と Kasalath との間の雑種第一代に見られる雑種強勢の QTL 解析  
☆仲村 洋輔<sup>1</sup>, 荻原 周平<sup>1</sup>, 一谷 勝之<sup>2</sup>, 久保山 勉<sup>1</sup> (1. 茨大院・農, 2. 鹿児島大・農)
- P009** 長野県在来カブ品種'保平蕪'における遺伝的多様性の評価  
☆小原 涼太郎<sup>1</sup>, 松島 憲一<sup>2</sup>, 根本 和洋<sup>2</sup> (1. 信州大院・総合理工, 2. 信州大学学術研究院農学系)
- P010** 多様な変わりイネの遺伝的多様性解析  
○竹中 祥太郎<sup>1</sup>, 妹尾 拓司<sup>1</sup>, 岡田 風吹<sup>1</sup>, 高谷 万理<sup>1</sup>, 長岡 楓<sup>1</sup>, 猪谷 富雄<sup>2</sup> (1. 龍谷大学 農学部, 2. 龍谷大学 里山学研究中心)
- P011** 現行品種が抱える複数の課題を克服した新規 F<sub>1</sub> ハイブリッド品種群「ハイブリッドとうごう 44 号 /45 号」の育成  
○地主 建志, 岩附 果穂 (株式会社 水稻生産技術研究所)
- P012** *Brassica rapa* var. *laciniifolia* と *Diplotaxis tenuifolia* との属間交雑による新型野菜「香味菜」の作出  
○大山 晃司<sup>1</sup>, 橋本 渉<sup>2</sup>, 鈴木 智大<sup>3</sup>, 房 相佑<sup>1</sup>, 大西 孝幸<sup>1</sup> (1. 宇都宮大・地域創生科学, 2. 宇都宮大・農, 3. 宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センター)
- P013** NBRP・コムギ事業：大規模交配集団の整備  
○太田 敦士<sup>1,2</sup>, 新田 みゆき<sup>1,2</sup>, 那須田 周平<sup>1,2</sup>, 吉田 健太郎<sup>1,2</sup>, 堺 俊之<sup>1,2</sup>, 竹中 祥太郎<sup>3</sup>, 松岡 由浩<sup>4</sup>, 森 直樹<sup>4</sup>, 西嶋 遼<sup>5</sup>, 寺内 良平<sup>1,2</sup> (1. 京大院・農, 2. NBRP・コムギ, 3. 龍谷大・農, 4. 神戸大院・農, 5. 福井県立大・生物資源)
- P014** 胚救済による種間雑種後代の育成と順化時の根こぶ病抵抗性の検定  
○小倉 輝之, 大西 孝幸, 房 相佑 (宇都宮大・地域創生科学)
- P015** 多収でいもち病圃場抵抗性“強”の北海道向け水稻新品種「そらきらり」の育成  
○山下 陽子<sup>1</sup>, 西村 努<sup>1</sup>, 池永 充伸<sup>1</sup>, 佐藤 博一<sup>2</sup>, 尾崎 洋人<sup>3</sup>, 宗形 信也<sup>4</sup>, 木下 雅文<sup>3</sup>, 丸田 泰史<sup>5</sup>, 佐藤 圭<sup>1</sup>, 漆畑 裕次郎<sup>6</sup>, 阿部 珠代<sup>1</sup> (1. 道総研・中央農試, 2. 道総研・十勝農試, 3. 道総研・上川農試, 4. 道総研・北見農試, 5. 道総研・道南農試, 6. 道総研・花・野菜技セ)
- P016** オオハマニンク染色体添加系統バンコムギにおける形質変化に関する研究  
小野 輝久<sup>1</sup>, 岸井 正浩<sup>2</sup>, 佐藤 心郎<sup>3</sup>, 平井 優美<sup>3</sup>, 辻本 壽<sup>4</sup>, ○岡本 昌憲<sup>1,3,5</sup> (1. 宇都宮大・バイオ, 2. 国際農研, 3. 理研・CSRS, 4. 鳥取大・乾燥地研, 5. 横浜市大・木原研)
- P017** ジョソングラス (*Sorghum halepense*) の頑健性を活用した新しいエネルギー作物育種の可能性  
○岡田 聡史<sup>1,5</sup>, 橋本 舜平<sup>2,5</sup>, 山田 千祥紀<sup>3</sup>, 中村 (荒木) 聡子<sup>1</sup>, 篠原 (大前) 梢<sup>1</sup>, 春日 重光<sup>4</sup>, 佐塚 隆志<sup>1</sup> (1. 名大・生物セ, 2. 東大院・農学生命科学, 3. 名大・院生命農学, 4. 信大・学術研究院農学系, 5. 共同筆頭著者)

### 03. ゲノム解析・ゲノム育種 (Genomic analysis・Genome-based breeding)

- P018** 様々なヘテロ接合性レベルを持つゲノムで検証された実用的なアセンブリガイドライン  
☆望月 孝子 1, 坂本 美佳 1, 谷澤 靖洋 1, 中山 卓郎 2, 谷藤 吾朗 3, 神川 龍馬 4, 中村 保一 1 (1. 遺伝研・大量遺伝情報, 2. 筑波大・計算科学研究センター, 3. 国立科学博物館・動物研究部, 4. 京大・農学研究科)
- P019** 短程・多薬遺伝子 *d65* の利用による安定生産可能なコシヒカリの同質遺伝子系統の育成  
☆藤田 駆, 富田 因則 (静岡大・グリーン研)
- P020** 気候危機下で安定生産可能なコシヒカリの多様な同質遺伝子系統の育成  
☆中山 公平, 富田 因則 (静岡大・グリーン研)
- P021** イネ日印品種間における玄米白度を向上させる染色体領域の探索  
☆大塚 梨緒 1, 田中 淳一 2,3, 津田 麻衣 4 (1. 筑波大・院理工情報生命, 2. 筑波大・生命環境系, 3. 農研機構・作物研究部門, 4. 筑波大・T-PIRC)
- P022** 強程・多薬遺伝子を利用した安定生産可能なコシヒカリの同質遺伝子系統の育成  
☆杉原 寛紀, 富田 因則, 岡田 大成 (静岡大・グリーン研)
- P023** 炊飯米特性のゲノムワイド関連解析と候補遺伝子の探索  
☆小野 皓亮 1, シェントン マシュー 2, 望月 賢太 2,3, 辻井 良政 3, 堀 清純 1,2 (1. 東大院・新領域創成科学, 2. 農研機構, 3. 東京農業大学)
- P024** 石川県の早生イネ品種「ゆめみづほ」における出穂期改良  
☆高田 茉莉奈 1,2, 紺谷 和博 2, 酒本 未希 2, 猪野 雅哉 1, 畑中 博英 1, 中村 啓二 1, 岡田 憲一郎 1, 高木 宏樹 2 (1. 石川県農林総合研究センター, 2. 石川県立大学)
- P025** 六倍体サツマイモにおける GWAS・QTL mapping・k-mer ベースのバルク分離分析による線虫抵抗性遺伝子座の探索と比較解析  
☆栗原 未結 1, 田淵 宏朗 2, 西村 和紗 3, 西田 英隆 3, 加藤 鎌司 3, 門田 有希 3 (1. 岡山大・院環境生命, 2. 農研機構・九沖研, 3. 岡山大・院環境生命自然)
- P026** ゲノム解析による国内のクワ遺伝資源の評価  
○松村 英生 1, 吉信 智史 2, 清水 諒 2, 鈴木 未来 2, 溝口 暁久 2 (1. 信州大・遺伝子, 2. 信州大・院総合理工)
- P027** クワの葉の形状に関する GWAS の試み  
☆Heejin Gye 1, 吉信 智史 3, 鈴木 未来 3, 清水 諒 3, 溝口 暁久 3, 松村 英生 2 (1. 信州大・繊維, 2. 信州大・遺伝子, 3. 信州大・院総合理工)
- P028** クワにおける性決定に関わるゲノム領域の同定  
☆鈴木 未来 1, 清水 諒 1, ゲヒジン 2, 熱見 稜 1, 松村 英生 3 (1. 信州大・院総合理工学, 2. 信州大・繊維, 3. 信州大・遺伝子)
- P029** ptpTALEN を用いたシロイヌナズナ葉緑体ゲノム DNA の標的三重鎖切断  
○末藤 巳旺, 中里 一星, 堤 伸浩, 高梨 秀樹, 有村 慎一 (東大・院農学生命科学)
- P030** イタリアンライグラスの脱粒性遺伝子座の同定  
○田村 健一 1, 水林 達実 2, 山川 博幹 2 (1. 農研機構・畜産研究部門, 2. 農研機構・作物研究部門)
- P031** 主要なグルテリン (*GluA*, *GluB*, *GluC*) を欠失させた半矮性コシヒカリ系統の作出  
○若佐 雄也 1, 川勝 泰二 1, 石丸 健 2, 小沢 憲二郎 1 (1. 農研機構・生物機能利用研究部門, 2. 農研機構・作物研究部門)
- P032** 種間ゲノムワイドオーソログ解析に基づくゲノム情報の移転  
○古田 智敬 (岡山大・資源植物科学研究所)

### 04. 遺伝子機能 (Gene function)

- P033** コムギの配偶子致死遺伝子 *Gc1* と *Gc5* の相互作用  
☆村田 和樹, 那須田 周平 (京大院・農)
- P034** イネ *Orysa*;KRP3 ゲノム編集変異体の種子発達過程の解析  
☆千田 智也, 伊藤 輝俊, 大矢 志緒里, 宮川 紗也, 菅原 里花子, 斎藤 靖史 (岩手大学 農学部 応用生物化学科)
- P035** パンコムギの環境ストレス耐性獲得に関わるアクアポリンの探索  
☆森谷 光, Waisuddin Ahmadzai, Safi Mohammad Taheb, 中山 理央, 神谷 容子, 川浦 香奈子 (横浜市大・木原生研)
- P036** P2A 配列を用いたシロイヌナズナでのニタンパク質同時発現と複数オルガネラ局在化の方法開発と検証  
☆柴 真緒, 中里 一星, 堤 伸浩, 高梨 秀樹, 有村 慎一 (東京大学大学院農学生命科学研究科 植物分子遺伝学研究室)
- P037** コムギにおける tRNA-gRNA array を利用した多重ゲノム編集個体の作製  
☆古村 翔也 1, 安倍 史高 2, 加星 光子 2, 吉田 健太郎 1 (1. 京大・院農, 2. 農研機構・作物研)
- P038** ゲノム編集による受精因子の遺伝子コード領域欠失体作出と解析  
☆吉村 有 1, 小林 壮良 1, 井川 智子 1,2,3 (1. 千葉大・院・園芸, 2. 千葉大・植物分子科学, 3. 千葉大・宇宙園芸)

P039 発生制御因子による自律的分化誘導効果の種間評価  
☆井上翔太1, 佐藤優加1, 井川智子1,2,3 (1.千葉大・院・園芸, 2.千葉大・植物分子科学, 3.千葉大・宇宙園芸)

P040 トマトにおける非生物ストレス応答性転写因子 SIWRKY6、SIWRKY9 および SIWRKY45 の機能解析  
☆Eman Shalaby, 高野 哲夫, 津釜 大侑 (東大院・農学生命科学)

P041 核細胞質置換コムギにおける新規雄性不稔遺伝子の探索  
○辻村 真衣1, 宮本 大輝1, 竹中 祥太郎1, 森 直樹2, 寺地 徹3 (1.龍谷大・農学部, 2.神戸大院農学, 3.京産大・生命科学部)

P042 稲わらの糖化性の品種間差を決める遺伝子候補の過剰発現による絞り込み  
山口 万優子, 小野 彩花, ○伊藤 幸博 (東北大・農)

## 05. オミクス・データベース (Omics・Database)

P043 フェノミクスとトランスクリプトミクス解析を通じたイネ収量関連形質と干ばつストレス応答の評価  
☆魏書君1, 黒田 凌1, 田中 凌慧1, 相馬 史幸1, 木富 悠花1, 菅野 徳子1, 林 篤司2, 高地 伸夫2, 根岸 美智哉2, 徳田 献一2, 七夕 高也3, 遠藤 真咲4, 雑賀 啓明4, 矢部 志央理1, 宇賀 優作1 (1.農研機構 作物研究部門, 2.農研機構 農業ロボティクス研究センター, 3.かずさ DNA 研究所, 4.農研機構 生物機能利用研究部門)

P044 時系列発現データに基づくイネ干ばつストレス応答の遺伝解析  
○田中 凌慧1, 魏書君1, 黒田 凌1, 相馬 史幸1, 木富 悠花1, 菅野 徳子1, 遠藤 真咲2, 雑賀 啓明2, 矢部 志央理1, 宇賀 優作1 (1.農研機構 作物研究部門, 2.農研機構 生物機能利用研究部門)

P045 タバコ変異データベースの活用: 低アルカロイド変異体の選抜と解析  
○竹内 貴規1,2, 宇田川 久史1, 新井 雅雄1, 真籠 洋1, 吉清 翼1, 高倉 由光1 (1.日本たばこ産業(株)葉たばこ研究所, 2.京都大学大学院農学研究科)

## 06. 抵抗性・耐性 (Resistance・Tolerance)

P046 オオムギのナトリウムプロトンアンチポーター HvSOS1 の導入がシロイヌナズナの耐塩性に与える影響の解析  
☆牧野 空1, 多田 雄一2 (1.東京工科大学大学院・バイオ・情報メディア研究科・バイオニクス専攻, 2.東京工科大学・応用生物学部)

P047 接木によりダイズ莖葉部・根部形質を切り分けて評価する方法の確立に向けて  
☆大関 深愛1, 津田 麻衣2 (1.筑波大・理工情報生命学術院, 2.筑波大・T-PIRC)

P048 イオンー遺伝子共発現解析を用いた野生イネ由来の低リン耐性機構の解明  
☆松永 幸子, 大森 良弘, 藤原 徹 (東京大・院農学生命科学)

P049 イネの根における低酸素依存的な皮層細胞層数の制御メカニズムの解析  
☆三並 翔哉1, 津田 勝利2, 山内 卓樹3 (1.名古屋大学農学部, 2.国立遺伝学研究所, 3.名古屋大学・生物機能開発利用研究センター)

P050 コムギうどんこ病菌感染過程における病害抵抗性遺伝子と生理活性分子の経時的変化の解析  
☆佐藤 佑樹1,2, Yuanjie WENG2,3, 嶋崎 太一1,2, 二瓶 賢一4, 吉田 健太郎5, 岡本 昌憲1,2,6 (1.宇都宮大・院地域創生, 2.宇都宮大・バイオ, 3.農工大・連合農, 4.宇都宮大・農, 5.京都大・院農, 6.理研・CSRS)

P051 四倍体コムギが異なる合成六倍体コムギにおいて塩ストレスに誘導される遺伝子の比較解析  
☆横田 彩乃, 森谷 光, 渡辺のみ果, 神谷 容子, 川浦 香奈子 (横浜市大・木原生研)

P052 コムギにおけるアブシシン酸受容体を介した病害抵抗性に関する分子生理学的解析  
☆Yuanjie Weng1,2, 嶋崎 太一2, 妻鹿 良亮3, 安倍 史高4, 金 俊植5, 吉田 健太郎6, 二瓶 賢一7, 岡本 昌憲2,5 (1.東京農工大院・連合農, 2.宇都宮大・バイオ, 3.山口大・創成, 4.農研機構・次世代, 5.理研・CSRS, 6.京都大・農, 7.宇都宮大・農)

P053 地表根が塩害水田でのイネ減収軽減に及ぼすメカニズム解明に向けた土壌環境計測  
○半澤 栄子1, 番場 大1, 橋本 駿1, 大場 義之2, 佐藤 雅志3, 木富 悠花4, 河合 翼4, 常田 岳志5, 佐藤 修正1, 宇賀 優作4 (1.東北大・院生命科学, 2.株式会社 村田製作所, 3.東北大・院農学, 4.農研機構・作物研, 5.農研機構・農業環境研)

P054 既知コムギ赤かび病抵抗性 QTL の新規アリルはコムギ赤かび病抵抗性母本「北系 1932」および「北系 1976」の育成において重要な役割を果たした  
○大西 志全1, 堀川 謙太郎2, 森田 耕一1, 相馬 ちひろ2, 佐藤 優美1, 其田 達也1 (1.道総研・北見農試, 2.道総研・中央農試)

P055 接ぎ木トマトにおける高温耐性: 特定網室における解析  
○西口 正通1, 本藤 加奈2,3, 中村 真也1, 篠崎 良仁4,5, 有泉 亨4,6, 江面 浩4,6, 小林 括平1 (1.愛媛大・農, 2.愛媛大・学術支援セ, 3.東京理大・創理工, 4.筑波大・T-PIRC, 5.農工大・院グローバルイノベ, 6.筑波大・生命環境)

P056 土壌 pH 条件で変化する稲ワラおよび玄米の元素吸収量とその遺伝的差異  
○山本 敏央1, 柏原 孝成1, 古田 智敬1, 張 乾1, 余 恩1,2, 馬 建鋒1 (1.岡山大・植物研, 2.安徽農業大学)

P057 トウモロコシ F1 品種「ゆめそだち」にテオシント *Zea nicaraguensis* の湛水・還元耐性に関わる 2 つの QTL を導入した F1 系統の作出と QTL の集積効果の検証  
○今瀬 諒司1, 高橋 秀和2, 大森 史恵1, 間野 吉郎1 (1.農研機構・畜産研究部門, 2.福島大・食農学類)

## 07. 収量・品質 (Yield・Quality)

- P058** カンショのセル成型育苗の適用に向けた育苗適性と最適な育苗期間の調査  
☆中嶋 瞳 1, 西中 未央 2, 田口 和憲 2 (1. 農研機構・北海道農業研究センター, 2. 農研機構・中日本農業研究センター)
- P059** イネ雑種の初期成育においてバイサルファイトアンプリコンシーケンスで検出された *18S rDNA* のメチル化レベルのヘテロシス  
☆大槻 日向子 1, 仲村 洋輔 1, 一谷 勝之 2, 久保山 勉 1 (1. 茨大・農, 2. 鹿大・農)
- P060** ソバのルチン含量および関連酵素遺伝子に対する花粉親の影響  
☆大塚 しおり 1,2, 原 尚資 1, 石黒 浩二 1, 松島 憲一 3, 安井 康夫 4, 松井 勝弘 2,5 (1. 農研機構・北海道農業研究センター, 2. 筑波大・院地球生命科学, 3. 信州大・学術研究院(農), 4. 京都大・農学研究所, 5. 農研機構・作物研究部門)
- P061** *SSIIa* 遺伝子は福井県の早生水稲育種に貢献したか?  
☆巻田 恵理奈 1, 小林 麻子 2, 菅波 真央 3, 吉田 英樹 3, 渡辺 脩斗 2, 町田 芳恵 2, 茶谷 弦輝 2, 中岡 史裕 2, 森中 洋一 1, 佐藤 信仁 2, 松岡 信 3, 三浦 孝太郎 1 (1. 福井県立大学, 2. 福井県農業試験場, 3. 福島大学)
- P062** 脂質含量を減らさずにタンパク質含量を高める野生ダイズ由来対立遺伝子の同定  
☆Cheolwoo Park<sup>1</sup>, Trang Thi NGUYEN<sup>1,2</sup>, Dequan LIU<sup>1,3</sup>, Wang Qingyu<sup>3</sup>, 許 東河 1 (1. 国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター, 2. Agricultural Genetics Institute (Vietnam), 3. College of Plant Science, Jilin University (China))
- P063** 北海道コムギ育種における半矮性遺伝子 *Rht8* の有用性の検証  
○林 和希 1, 齊藤 涼介 1, 其田 達也 1, 島田 翔太 2, 大西 一光 2, 堀川 謙太郎 3, 佐藤 圭 4, 大西 志全 1 (1. 道総研・北見農試, 2. 帯広畜産大学, 3. 道総研・上川農試, 4. 道総研・中央農試)
- P064** 育種プログラムにおける有望系統の小麦粉生地強度に寄与するタンパク質の特定  
○木澤 恵子 1, 足利 奈奈 2, 林 和希 2, 大西 志全 2, 早川 克志 1 (1. 日清製粉株式会社・つくば穀物科学研究所, 2. 北海道立総合研究機構北見農業試験場)
- P065** 納豆用大豆の蒸煮裂皮の解析  
○大越 三登志 1, 松井 匠 1,2, 岩橋 雅夫 1,3, 岡本 和之 1,4, 岡野 克紀 1 (1. 茨城県農業総合センター生物工学研究所, 2. 現・茨城県県西農林事務所坂東地域農業改良普及センター, 3. 現・茨城県農林水産部農業技術課, 4. 現・茨城県農業総合センター農業研究所)
- P066** イネごま葉枯病抵抗性遺伝子 *bsr1* の近傍にある玄米粒幅を制御する遺伝子座の解析  
○松本 憲悟, 本多 雄登 (三重県農業研究所)
- P067** 植物体内におけるリンの分配を改変する *spdt* 変異遺伝子を飼料米品種「モミロマン」に導入した系統の作出、および玄米の低フィチン酸化によるカルシウムの消化吸収の改善  
○溝淵 律子 1, 山崎 信 2, 大森 英之 2, 大津 晴彦 2, 原文 香 2, 對木 千加子 1, 山内 歌子 1, 正村 純彦 1, 山地 直樹 3, 馬 建鋒 3, 吉田 薫 4 (1. 農研機構・作物研究部門, 2. 農研機構・畜産研究部門, 3. 岡山大学 資源植物科学研究所, 4. 東京大学大学院農学生命科学研究科)
- P068** 大豆短茎系統の密植播種による収量への影響  
○河野 雄飛 (農研機構・中日本農業研究センター)

## 08. 発生・生理 (Development・Physiology)

- P069** 野生イネ *Oryza meridionalis* を用いた穂形態を制御する遺伝子座の探索  
☆縣 歩美 1,2, 高橋 宏和 1, 中園 幹生 1, 佐藤 豊 2 (1. 名大院生命農学, 2. 国立遺伝学研究所)
- P070** トレニア新規変異体 *Frilly Petal Undulation 1 (fpu 1)* の原因遺伝子の探索  
☆黛 隆宏 1, 畑下 昌範 2, 高城 啓一 2, 石井 公太郎 3, 阿部 知子 4, 風間 裕介 1,4 (1. 福井県立大学大学院生物資源, 2. 若エネ研・生物資源, 3. 量研機構・放医研, 4. 理研・仁科センター)
- P071** NARO 日本在来イネコアコレクションにおける種子休眠の多様性  
☆石川 智就 1, 村田 和優 2, 山田 哲也 1, 金勝 一樹 1 (1. 農工大・農学府, 2. 富山県農林水産総合技術センター)
- P072** 水稲種子の低温発芽制御における *qLTG3-1* 遺伝子産物の機能の解析  
☆山本 真如 1, 山口 琢也 2, 村田 和優 3, 山田 哲也 1, 金勝 一樹 1 (1. 農工大・農学府, 2. 富山県砺波農林振興センター, 3. 富山県農林水産総合技術センター)
- P073** *Dual-NAM* 集団を用いた出穂期制御に関わる環境応答性遺伝子の同定  
○齊藤 大樹 1, 土井 一行 2, 阿部 陽 3, 小川 諭志 4 (1. 国際農研, 2. 名大院生命農学, 3. 岩手生工研, 4. 農匠ナビ株式会社)

## 09. 増殖・生殖 (Multiplication・Reproduction)

- P074** 染色体数の異なる種間の異質二倍体雑種を起点とする新種誕生の可能性  
☆中田 康貴, 金勝 一樹, 山田 哲也 (農工大・院連農)
- P075** 雑種致死性を誘導したタバコ属種間雑種の子葉で存在量に変化する可溶性および不溶性タンパク質のプロテオーム解析  
☆浅井 安都怜, 金勝 一樹, 山田 哲也 (農工大・院農)

- P076 細胞質雄性不稔性トマトのトランスクリプトーム解析による花粉発芽関連遺伝子の探索**  
☆桑原 康介<sup>1</sup>, 有泉 亨<sup>2</sup> (1.筑波大・院理工情報生命, 2.筑波大・生命環境系)
- P077 中央細胞 - 卵細胞間の原形質連絡の閉鎖が卵細胞における DNA メチル化へ及ぼす影響**  
☆金子 滂, 八代 惇, 鎌田 千裕, 長谷川 綾子, 須崎 大地, 杉直也, 殿崎 薫, 丸山 大輔, 木下 哲 (横浜市立大学 木原生物学研究所)
- P078 2つのテンサイ細胞質雄性不稔における相違と類似性**  
桂 直幸<sup>1</sup>, 伊藤 葉奈<sup>1</sup>, 松平 洋明<sup>2</sup>, 黒田 洋輔<sup>2</sup>, ○久保 友彦<sup>1</sup>, 北崎 一義<sup>1</sup> (1.北大・院・農, 2.農研機構・北海道農業研究センター)

## はじめに

学会は専門家が集まる場とのイメージが強いですが、多様な専門分野から構成される育種学会では、個々の研究者の専門性が高度であるがゆえに、お互いの専門分野をより理解し、分野間の距離を縮める取り組みが必要であると思われます。今回の第 145 回大会では、若い学生みなさんが参加できる「体験コース」を組み込んだこともあり、初学者や専門知識のない人でも楽しみながら最先端の技術トピックに触れることができる、レクチャーコーナーを新しく企画することにしました。どんな講演プログラムがあるかは、下記をご覧ください。若い学生の皆さん、一般会員の皆さん、多数の参加をお待ちしております。

## 開催日時

2024 年 3 月 17 日（日）午前 11:00-12:00

## プログラム

### 1. みんなで遺伝子を調べて桜の開花を予想しよう！

白澤 健太（かずさ DNA 研）

会場：農学部 2 号館 YAMASA L.R. 106（第 4 会場）

みんなでサクラの木の下に集まって、自分たちの手で遺伝子のはたらき方を調べて、サクラの開花を予想してみたいと思いませんか？開発中の遺伝子検査キットを使って、参加体験型の遺伝子開花予想を開催します。

### 2. ゲノム編集マスタークラス ～原理から明るい食の未来まで～

津田 麻衣（筑波大）

会場：農学部 2 号館化学第 1 講義室 227（第 3 会場）

科学の知識がなくてもわかりやすいようにゲノム編集技術の原理などについて解説します。また、現在のゲノム編集を用いた開発研究を紹介しつつ、ゲノム編集技術が私たちの食にどのような未来をもたらすのか、皆さんで考える機会としたいと思います。

### 3. ゲノム編集で作った変異系統の野外栽培を考えてる人、集まれ～

井澤 毅（東大）

会場：農学部 1 号館第 8 講義室（第 2 会場）

日本のゲノム編集変異系統の野外栽培に関するガイドラインでは、通常の突然変異（SDN1 タイプ）では何の規制も受けることはありませんが、監督官庁への事前相談と実験計画書の提出・受理が求められています。そのせいか、これまでの野外栽培例は十件前後と限られています。

これまで3回の文科省との事前相談・実験計画書の提出を済ませた経験から、このレクチャーでは、これから野外栽培を検討している研究者・育種家に、全て情報をオープンして提供する予定です。

#### **4. ドローンを飛ばして、畑や水田を調査しよう！**

郭 威（東大）

会場：農学部2号館化学第2講義室121（第5会場）

系統選抜を目的とした育種圃場を対象に、各系統の生育初期から後期にわたっての表現型（群落キャノピー構造や草丈変化など）について、ドローン空撮による計測技術と事例を紹介します。

#### **5. ゲノムデータベースを使い倒そう！ ユーザー目線のノウハウを伝授**

大森 良弘（東大）

会場：弥生講堂（第1会場）

次世代シーケンシング解析の普及により、ゲノム科学やポストゲノム研究は多種多様なオミクス情報を取り入れながら生命情報学の爆発的な成長を牽引しています。本コーナーでは、オミクス情報を扱っている、またはこれから扱いたいと考えている初学者を対象として、ゲノムデータベースを利用する方法やその注意点について、私の実体験を交えながら解説を行う予定です。

#### **6. ゲノム育種をシミュレーションゲームで体感しよう！**

岩田 洋佳（東大）・本多 潔（ListenField株式会社）

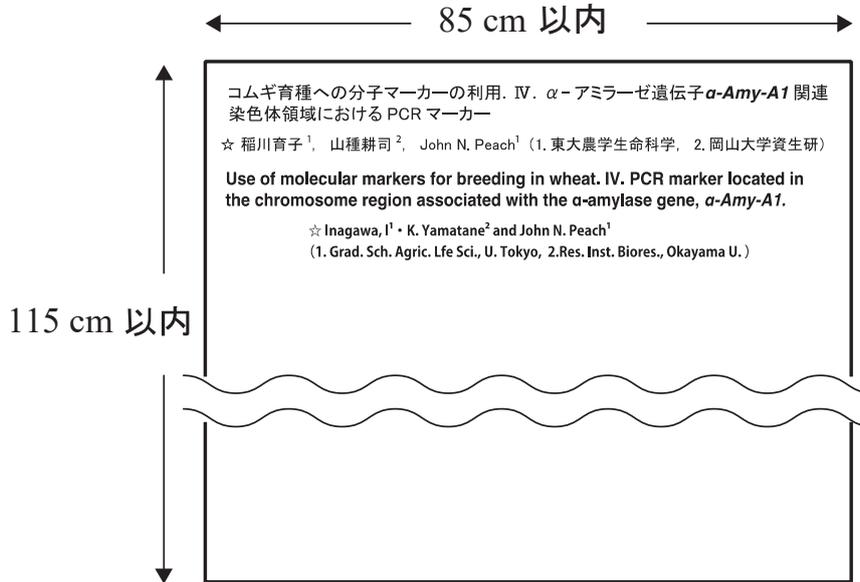
会場：農学部1号館第4講義室 【注意：人数制限あり 先着30名まで】

育種家は、植物や動物の遺伝特性を改良して、高収量や病気への耐性などを向上させる専門家です。育種では、どの系統を交配し、どの特性を強化するかを戦略的に選択する必要があります。あなたも育種家としてゲノム育種（ゲノム情報を活用した効率的な品種改良）のための戦略を練り、優れた特性を備えた品種を育成してみましよう。

レクチャーコーナーのプログラムは、体験コース参加者のみでなく一般の講演会参加者も参加可能です。

## ポスター作成要領

1. ポスターは横 85cm×タテ 115cm に収まる大きさに作成してください。
2. ポスターの上部には、オンライン登録と同一の演題名、著者名、所属を 48 ポイント以上の文字サイズを使い、日本語、英語を併記してください。
3. 図表のタイトル、説明文は英語で表記してください。



## 口頭発表講演方法

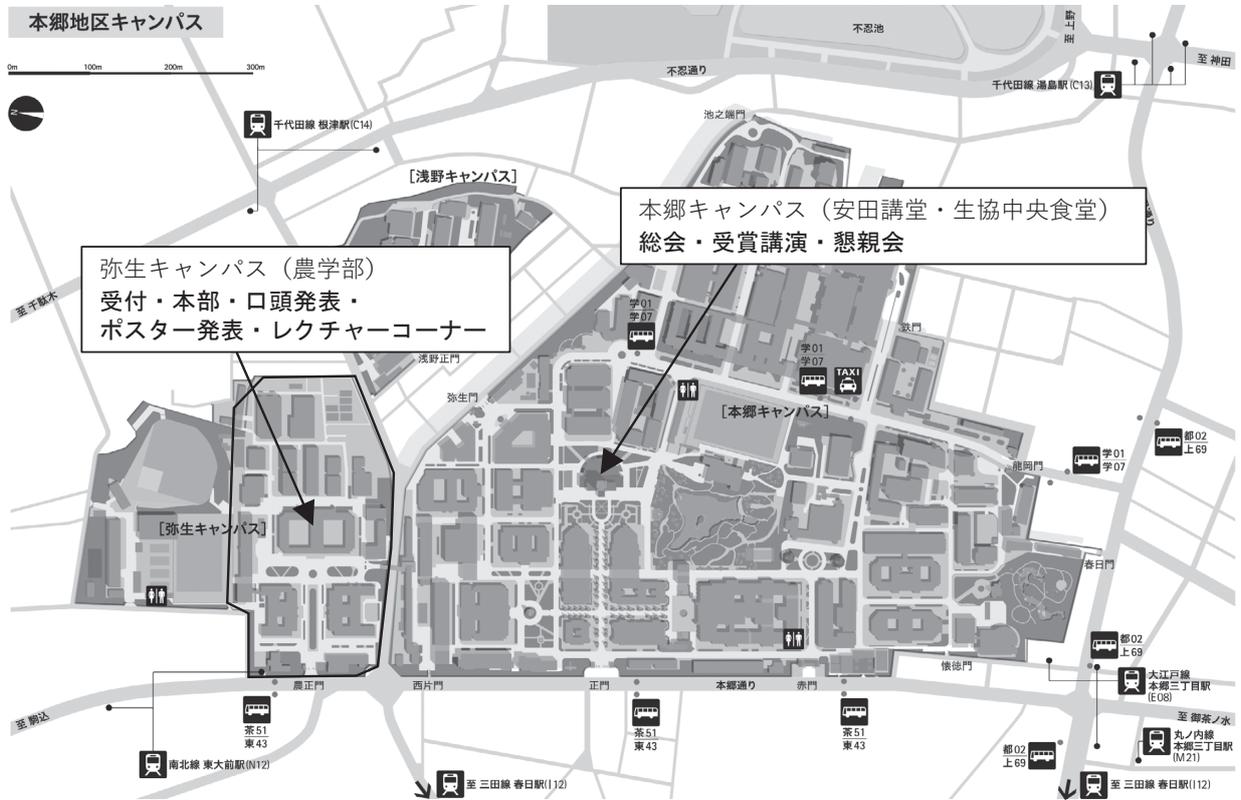
口頭発表の発表形式はプロジェクターによるプレゼンテーションのみです。発表にはご自分のパソコンをご使用ください。発表者は当日の朝や昼の休憩時間に会場で試写を行い、スライドのレイアウトや動作をご確認いただくとともに、パソコンの画面出力先の設定（ミラーリング）方法を必ずご確認ください。

また、パソコンの不具合に備えて大会運営委員会では予備のパソコン1台をご用意しますので、**データのバックアップを入れた USB メモリを必ずご準備ください。**

1. 使用するノートパソコンの「画面の解像度」を XGA (1024×768 ピクセル) に設定してからスライドのレイアウトを確認してください。これよりも大きい画面サイズやワイド画面のパソコンを使用すると、プロジェクターから正しく投影されないことがあります。
2. 画面出力端子の形状が D-sub15 ピン（ミニ）もしくは HDMI (type-A) であることを確認してください。この形状と異なる場合や、Mac をご使用になる場合は、変換アダプタを準備してください。
3. スクリーンセーバー、省電力設定は解除し、起動音をミュート（消音）にしてください。
4. バッテリートラブルが生じないように電源タップを用意しますので、パソコンの電源コードを準備してください。
5. 次講演者席、次次講演者席に着席したら、電源コード、モニターケーブルを順に接続し、パソコンを起動してください。
6. 発表者の画面がプロジェクターから投影されない場合、発表者はミラーリングの変更を行ってください。なお、トラブルの時間も講演時間に含まれますのでご了承ください。
7. 動画はミラーリングによってプロジェクターから投影されないことがありますので、発表者は試写の際にミラーリング方法をご確認ください。
8. 不慮の事態における予備のパソコンの貸し出しにつきましては会場のスタッフにお申し付けください。

その他、ご不明の点は大会運営委員会 (jsb145-secretariat@nacos.com) にお問い合わせください。

## 講演会場（東京大学弥生/本郷キャンパス）へのアクセス



### 【 弥生キャンパスまでの交通 】

#### ○羽田空港から

「羽田空港」(東京モノレール) → 「浜松町」(JR山手線) → 「駒込」(地下鉄南北線) → 「東大前」(約1時間)

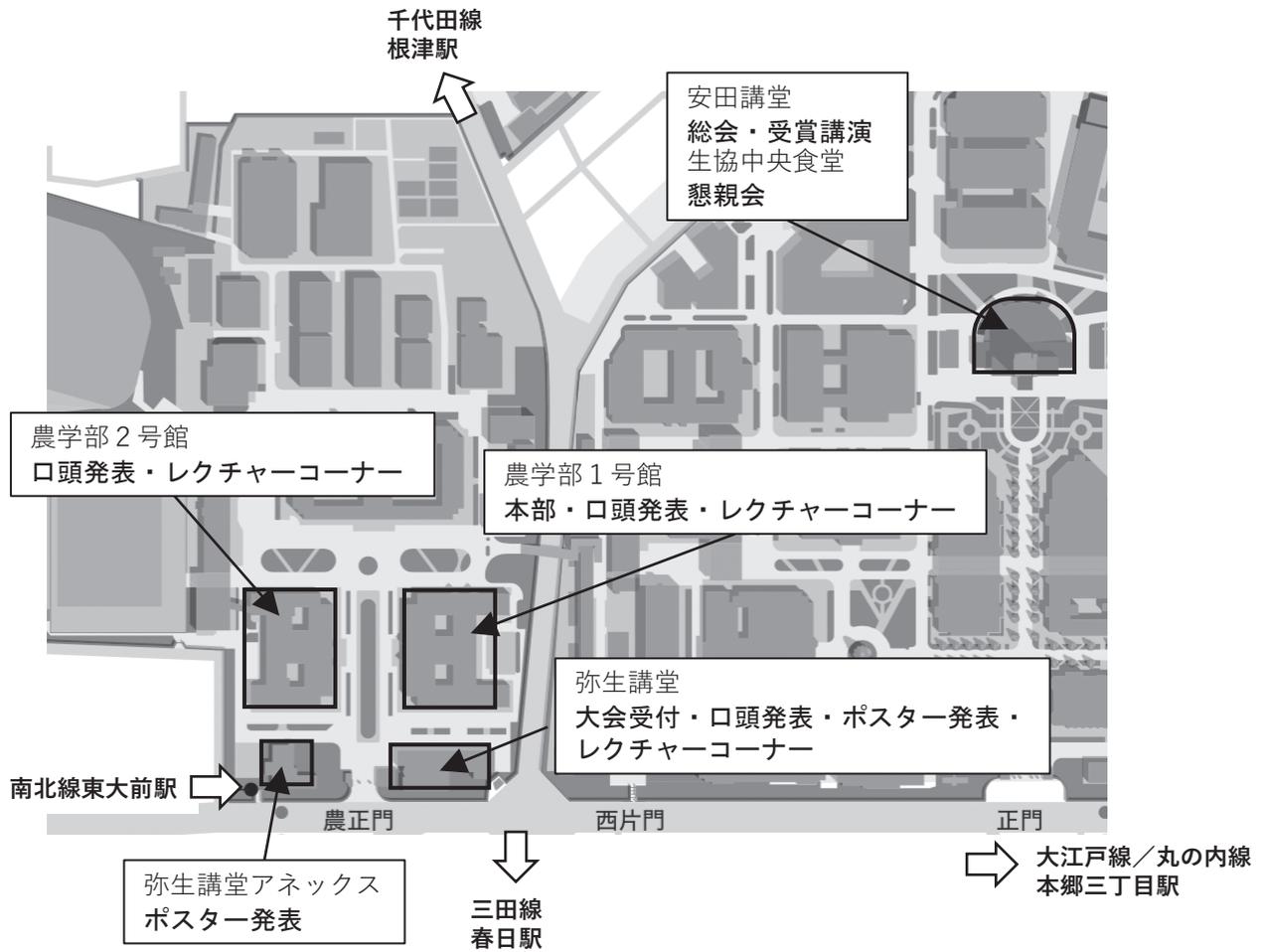
「羽田空港」(京急空港線) → 「泉岳寺」(都営浅草線) → 「三田」(都営三田線) → 「白金高輪」(地下鉄南北線) → 「東大前」(約1時間)

#### ○東京駅から

「東京」(地下鉄丸の内線) → 「後楽園」(地下鉄南北線) → 「東大前」(約20分)

「東京」(JR山手線) → 「駒込」(地下鉄南北線) → 「東大前」(約30分)

講演会場案内図（東京大学弥生/本郷キャンパス）



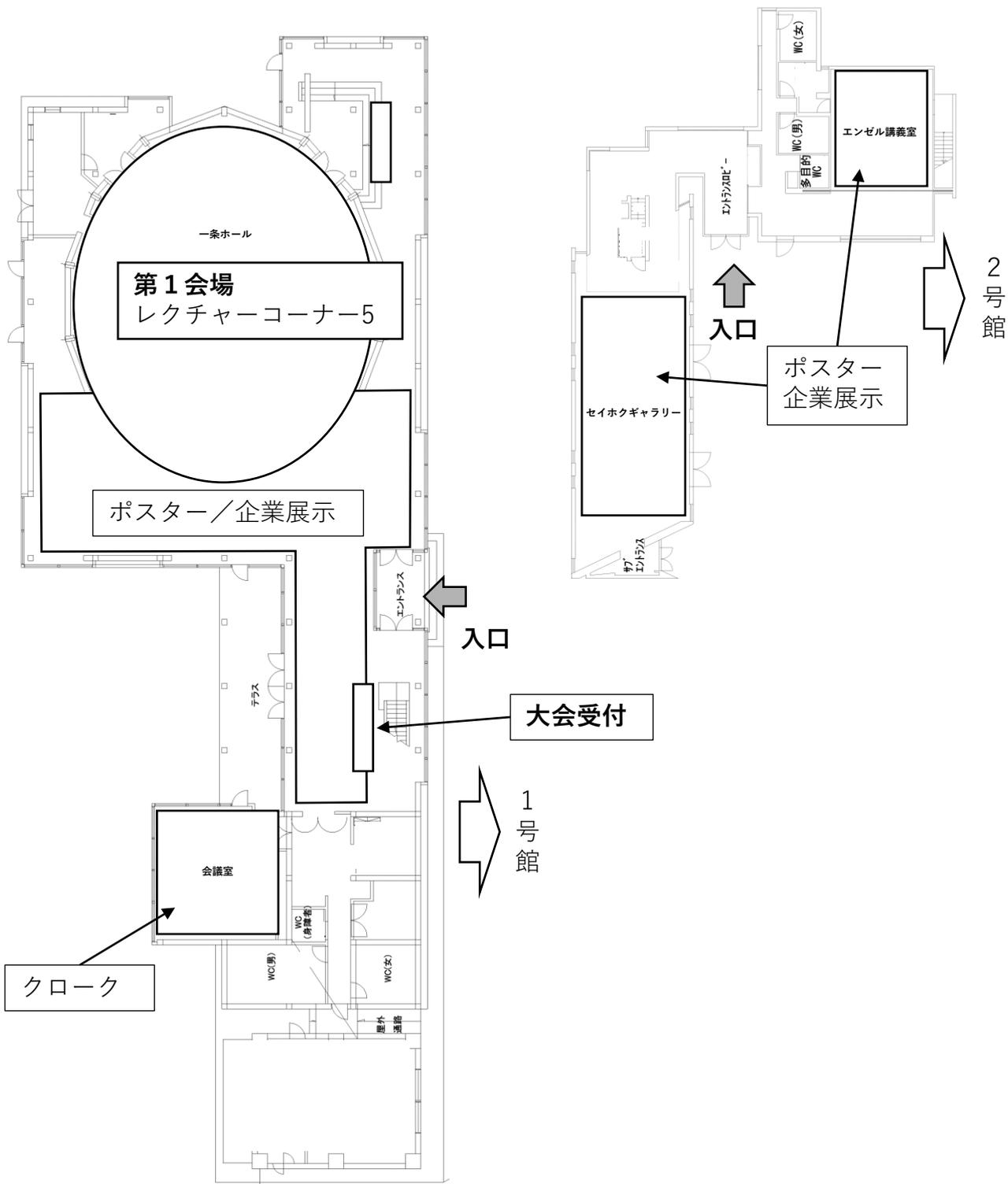
最寄り駅（弥生キャンパスまで）

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 東大前駅(地下鉄南北線)    | 徒歩1分  |
| 根津駅(地下鉄千代田線)    | 徒歩8分  |
| 本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線) | 徒歩12分 |
| 春日駅/白山駅(地下鉄三田線) | 徒歩12分 |
| 本郷三丁目駅(地下鉄丸ノ内線) | 徒歩14分 |

講演会場案内図

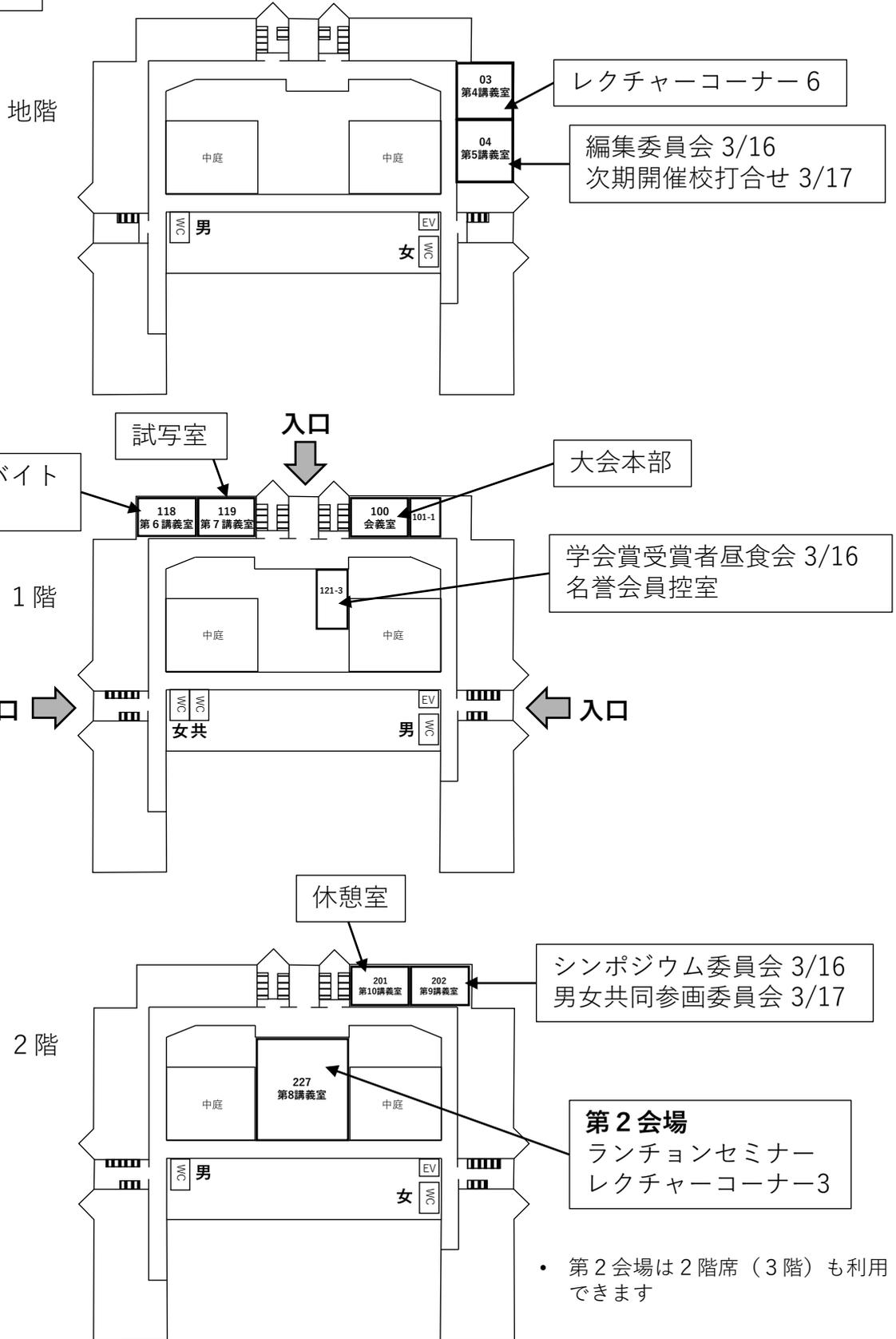
弥生講堂

弥生講堂アネックス



講演会場案内図

農学部1号館



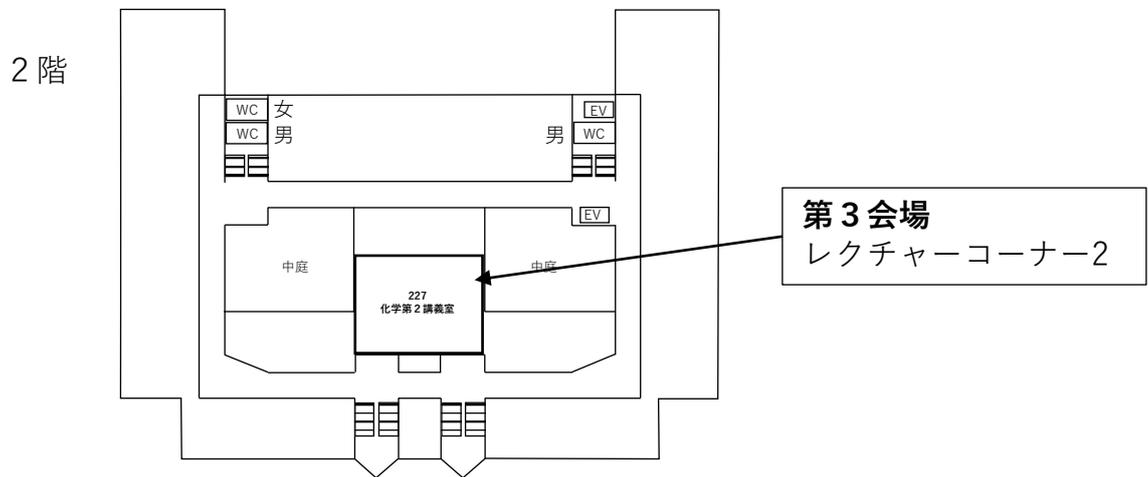
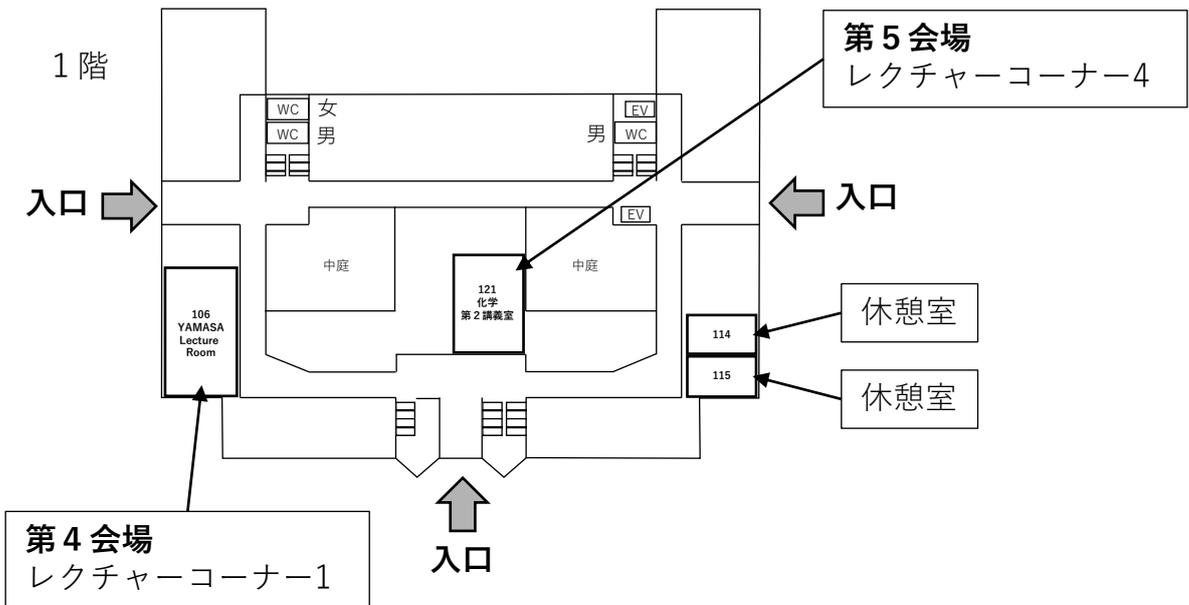
弥生講堂

・ 第2会場は2階席（3階）も利用  
できます

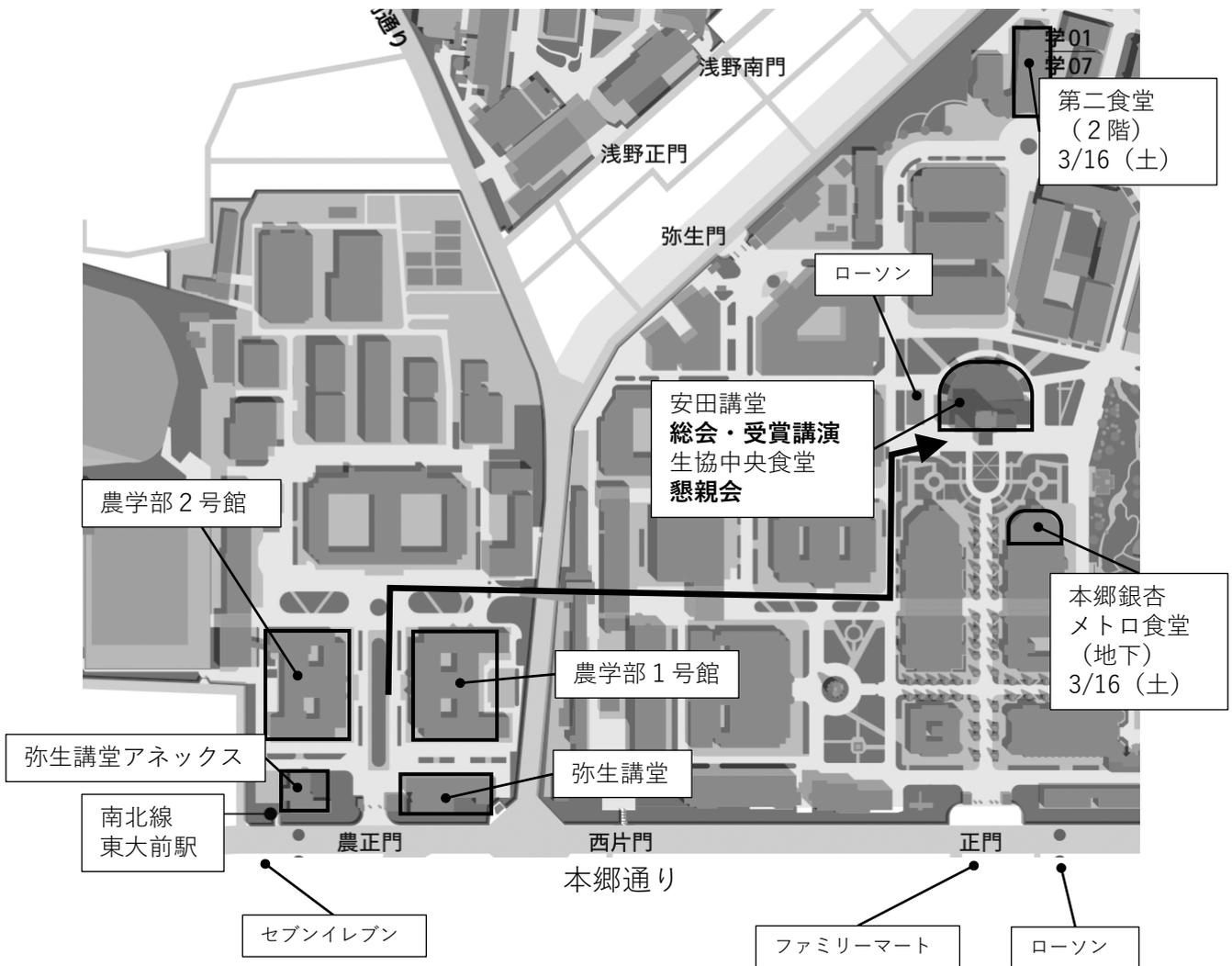
講演会場案内図

農学部2号館

弥生講堂アネックス



総会・懇親会会場／食堂案内図



- 農学部会場から安田講堂までは歩いて約8分 (500m) です。
- 農学部食堂、生協中央食堂は3/16,17とも営業していません。
- 第二食堂、本郷銀杏メトロ食堂は3/16 (土) 昼のみの営業です。
- 3/17 (日) の昼食は本郷通り周辺の飲食店、コンビニエンスストア等をご利用ください。